

6

- ・新しい歴史教科書（自由社）。現代の日本と世界。一部しか見ていないが、第2次世界大戦の見方について片寄った一方的な見方で決めつけているように思う。1957年における安保条約についても、一方的な見方であると思う。広く正しく目を向け、教育的な立場で編集してほしい。

—行政区：山科区 年齢：72歳

7

- ・自由社・育鵬社（以下「作る会」系）の歴史教科書は、全体として「神話」につながる天皇中心に歴史がかかっている。特に自由社の「神々の系図」は特にひどい！（非科学的）。（忠実）事実にもとづいた歴史でなければならない。しかも、民衆（一般民）の姿がえがかれていない。
- ・「作る会」系歴史教科書での戦争の描き方がすべて“自衛のため”とか、“アジアの人々に勇気を与えた、守った”という視点でかかっている。歴史学の研究成果にもとづいていない。「大東亜戦争」をいう呼称（その意味）は、日本の侵略・植民地支配を否定し、侵略戦争を美化するものである。また経済（日本資本主義）との関わりも一方的なとらえ方である。
- ・育鵬社「公民」教科書の日本国憲法（P.49）のとらえ方が、「英文」などを示して、ことさら“押しつけられた”と強調。平和主義（P.56～）のところでは、ページの3/4が自衛隊でうまり、「防衛」の強調・改憲手続に2ページついやすなど、現政権の代弁者のようだ（そういえば安部首相の写真が13枚?!つかわれている）。
- ・紙数不足だが、結論は、「作る会」系教科書は採択しないほしい。歴史も公民も、平和と民主主義の立場で書かれたものにしていただきたい。「学び舎」が一番面白いが、「日文」や「帝国」も正確で使いやすいと思う。

—行政区：山科区 年齢：72歳

<右京中央図書館>全28件

1

- ・歴史の教科書を東京書籍、自由社、育鵬社の3社を拝見しました。一番、歴史への興味がわき、学習しやすいのは育鵬社が抜きにでていいのではないのでしょうか。自由社は、当時の世界から見た日本というコラムがあり、大人でも勉強になりました。東京書籍は従来のつまらない暗記ものという印象しか残りませんでした。育鵬社は、はじめに学習方法の提案からはじまって日本人として誇りに思える自国の歴史を一貫して書かれており、自分の子供がこの教科書で学習できたらますます知識を深め、学習意欲が増すだろうと期待させられるものでした。

—行政区：右京区 年齢41歳

2

- ・歴史の教科書は全般的に近代日本から、こちらは、写真で記されている内容では、戦争やその時代を辛く苦しい思いをしてきた人々が多勢いることのリアルな感じが伝わらない。沖縄戦では「ひめゆりの塔」など若くして無残な命をおとした歴史的な事実が書き消されたり、TVでもよくきかれる慰安婦問題についても殆ど触れていないといってもおかしくない。歴史的に、認めざる事実を認めることなく、隠すことで、日本の歴史をねじまげ、国際的に恥じるべき内容に触れることのない教科書の内容に反対です。私の頃はもっと国際的に日本、他国も含めもっと歴史的背景に触れ、我が国のことを反省し、希望を育もうとする内容でした。日本が悪いことをしたという内容を打ちけす内容に反対です。公民では「ふたたび戦争の惨禍が起こることがないようにすることの決意」をうたっていますが、非核三原則をかかげ、世界の核兵器廃絶にむけて取りくんでいるとあるが現在は多国に核を支援したり、自衛隊などを戦争への後方支援をさせようとしており、命の重みを考えられるよう伝えていけるような世の中にして欲しい。そのような若い子ども達にありのままの教科書を内容を美化しないように選んで欲しい。

—行政区：右京区 年齢42歳

3

- ・憲法は権力者の行為を制限し、国民を守るためのものであるということをきちんと教えてください。憲法は国民が従うべき義務ではありません。統治者が従うべきものです。国民の権利です。国民の義務が書かれているのは法律です。“憲法は国民の義務”という印象を強く与える表現方法の教科書を採択することは、再び権力者の独裁へと近づけてしまいます。今後国際的に活動することが多くなっていく世代です。日本のあやまち、日本だけでなく人類全てにとってのあやまちである戦争をおこさないための教育をして

ください。他者うけいれることを教えてやってください。

—行政区：右京区 年齢 37 歳

4

- ・育鵬社の歴史の教科書の採用はやめて下さい。日本の侵略戦争への反省が子どもたちに教えることができません。ページ 241 右上⑤写真「多くの人々が戦争に敗れたことを天皇におわびしている」戦争を美化していると思います。学び舎の歴史教科書が良いと思います。日本の戦略戦争の記述があり、沖縄戦についてもしっかりかかれていて、子どもたちにわかりやすいと思います。自由社の教科書の使用はやめて下さい。P. 246「大東亜戦争とアジアの独立」日本の侵略戦争をアジア解放につながったと教えているのは間違いだと思います。もっと侵略していった事実を子どもたちにわかるように教えるべきです。沖縄戦や原爆の記述が少なすぎると思います。公民の清水書院、憲法の記述がわかりやすく良いと思いました。

—行政区：右京区 年齢 42 歳

5

- ・第二次世界大戦での大きなギセイを反省して現在の憲法が誕生した経過が記述されている清水書院の公民の教科書が良いと思う。育鵬社の公民教科書は大日本帝国憲法の制定の経過の記述が多く、現在の憲法部分GHQによる与えられたものの様に受けとれてしまう。多くの人が労働者になり社会に出ていくので労働者の権利が詳しく記述してある清水書院は良いと思う。国旗、国歌の意味の記述が一方的…自由社 公民

—行政区：未記入 年齢：未記入

6

- ・社会科教科書(公民教科書)の憲法の項について意見します。育鵬社でとりわけ国民権の説明に国民一人ひとりさをさすのではないとか、権利や自由が公共の福祉で制限されているのはおかしい。さらに立憲主義の立場が欠落していると思います。戦後の日本の平和には、憲法9条の貢献、果たした役割を伝えてほしいと考えます。国民権、立憲主義、憲法の解釈を正しく反映した教科書で、子どもたちの学びを保障して下さい。

—行政区：右京 年齢：49 歳

7

- ・育鵬社公民 54 ページの公共の福祉による制限の項の憲法に関する記述はおかしいと思います。憲法は、社会の秩序を混乱させたり社会全体の利益をそこなわないように戒めるためのものではありません。国家権力から人間の権利や自由を侵させないためのものです。また、北朝鮮や中国との間で起こっている摩さつを印象づけるように写真にしてしまっているところも、近隣諸国への負の感情を植えつけることになってしまい、教育としては不適切であると思います。教育とは他者に対して負の感情を持つようにしむけることなく、他者はなぜそのような状況にあるのか理解に努め、対話し、解決していくことを教えていくべきであると思います。

—行政区：右京 年齢 38 歳

8

- ・子ども達が成人して社会に出る世界中で活やくする時代に、日本だけの考えをおしつけて正しい戦争だったかの様な教育はやめてほしい。学校の授業でも憲法を教える時間をもってほしい。よって育鵬社の教科書は使わないでほしい。

—行政区：右京 年齢 66 歳

9

- ・今の研究の到達である「アジア太平洋戦争」の呼び名を育鵬社、自由社の歴史教科書では「大東亜戦争」と称し、“アジアの国々を解放する”正しい戦争であったかのような記述がある。アジアの人々を日本軍が苦しめた、抵抗した事実の記述も少ないので育鵬社、自由社の教科書は採択しないで下さい。日本軍が過去の戦争でアジア各地の人々にどのような苦しみを与えたか事実を知らずに(学校で教わらずに)大人になり世界中で仕事をしたり、各地に旅行に行ってしまう。アジアの人々も最近よく日本に旅行に来られるので、過去の誤ちは誤ちとして正しく子どもたちに認識してもらい、世界中の人たちと仲良くしてほしい。子どもに望みます。自由社の歴史教科書には、「神々の系図」として神武天皇(実在ではないのは常識)の祖先はいざなみ、いざなぎの神々ときっちりと系図がかかっている。天皇=神であると教えられたのは戦前のことで、事実でないことを歴史教科書にのせるなんて絶対にやめてほしい。清水書院の公民(すばらしい)。日本国憲法の扱い、特に人権がかくとかされた経過、これを維持していくために私

たちも努力し続けなければいけないことが、とてもわかりやすくかかれています。すばらしかった。“自由”と“わがまま”が違うことがかかれています。一方、育鵬社は自由とわがままと同じに記述しているのでまちがいです。

—行政区：右京 年齢 45 歳

10

・育鵬社の公民の教科書の 55 ページに「すべての国民が憲法を尊重し…」と記されています。憲法と法律とが混同されています。法律は国民が守らなければなりません、憲法は大臣や国会議員、裁判官などの方が尊重し擁護する義務を負っています。記述がおかしいと思います。同じく育鵬社の記述ですが、「自衛隊を憲法 9 条に違反しないものと考えています。」というのは、一部の人の意見のみ取り入れ、反対する人もいるということが全く書かれていないのは一方的すぎると思います。

—行政区：右京区 年齢：63 歳

11

・帝国書院の歴史教科書では、満州移民の実態について詳しく書かれていてよかったです (P222, 223)。一方で、育鵬社・自由社の教科書では、日本人が中国である満州にあたりまえのように住んでいたように記されているので、事実と違うと思います。他国を侵略したという事実は歴史の教科書なんだからしっかりと記してほしい。沖縄戦のことがしっかりかかれていますので、帝国書院 (P230・231) はすばらしい。日本軍が沖縄県民にやった事実もしっかりかかれています、よいと思います。子どもたちに真実 (良い点、悪い点も含めて) を伝えてほしい。まちがったことがたくさんかかれています育鵬社、自由社は採択しないでください。

—行政区：右京区 年齢：46 歳

12

・清水書院の教科書は、事実に基づき、わかりやすく書いてあるので、大変良いと思った。戦争についても、日本が、他国にしてきた事等つつみかくさず記載されていてよい。P244 体験、証言も子どもたちにわかりやすいと思う。

・育鵬社の教科書は今の安倍政権の代弁をしているように思える。戦争賛美しているように思うと同時に、歴史の事実をちゃんと伝えていない。都合のいいようにねじまげている。

・人をひとり殺すとは罪になるのに、多くの死者を出す戦争は絶対反対です。人が平和に暮らせる社会をつくっていくことが、戦争を体験した国のつとめであると思う。戦争にむかう教科書はいらない。

—行政区：右京区 年齢：65 歳

13

・現代社会に巣立ち担う子供達へのささやかなプレゼント。希望も込めてなればと思って初めて参加しました。次代を担う子供たち、健全であれと希うばかりです。学校教育では大人の誤ちを、真実、事実をゆがめる方向での教科書を与えてはいけないと思います。日本国憲法をしっかり学ばせ身につけさせることが大事です。

・時の政権 (現在の自民党安倍政権) の先どりをする様な教科書、例えば、育鵬社・自由社は採用しないで下さい。日本国憲法が保障する人権規定の地球で、そのよって来たる背景、その歴史的な経緯が記述されていません。天皇主権に逆もどりするような教科書編集を感じさせます。日本国憲法の人権意識、平和主義の理念を生きる子どもたちに育てるために、戦争賛美、天皇にページを割いた教科書は採択しないで下さい。朝日訴訟、沢内村の生きた事実を伝える清水書院の公民教科書に共感を覚えました。

—行政区：右京区 年齢：79 歳

14

・自由社の新版中学社会新しい歴史教科書 8. 神話が語る国の始まりは、神々の系図まで教えていて、社会の授業で習う内容としてはおかしいと感じます。

—行政区：右京区 年齢：48 歳

15

・中学社会 ともに学ぶ人間の歴史—学び舎 支配する側ではなく、市民の立場からとらえられていて、特に近代史—もう一度学び直したくなる内容でした。子供たちが、自分の周囲を見る目を育てると思います。新しいみんなの公民—育鵬社— 私が今までの人生でわかってきたこととは違う点があまにも多く驚いています。政府の意見を押しつけている内容としか思えません。子供や孫に、「これは事実ではない、これは変」としか言えない本を教科書として扱わせないで下さい。

—行政区：右京区 年齢：56歳

16

・「育鵬社」の「公民」P47 憲法とは何かの項で、最も大切な「政治権力が～」が軽くあつかわれている。またP49「日本国憲法の制定」経過も真実と違う。P57「第9条と自衛隊」は傾った考え方（今の安倍政権が主張していることと同じ）です。P58～P61も、安倍政権の主張です。全体としてこの本では、子たちが正しく育っていきませんので、採用はやめるべきです。近隣諸国は（北東アジアの国々）真実にそった内容で日本のことを自国の子たちにおしえています。今はグローバルの時代なので、日本の子どもに嘘をおしえると世界に通用しない人に育ちます。この内容ではダメです。

—行政区：未記入 年齢：未記入

17

・展示会をしていただけると、いろんな教科書がみれて大変興味深かった。いい機会でした。また勉強がしたくなりました。

—行政区：中京区 年齢：30歳

18

・新しいみんなの公民（育鵬社）

1. 見開きの写真の中に、沖縄の米軍基地に関する危険と議論が載っていないのは、物足りないと感じる。
2. 「戦後の日本の平和は、自衛隊の存在と米軍の抑止力」とあるが、数々の戦争にはアメリカが直接大きく関わっていて、現実に憲法9条が歯止めになったギリギリの場面も見ている。様々な議論のある中、言いきるのには、教科書ではどうかと思う。
3. 戦後の価値観は、何よりも一人一人の尊厳が基本であって、義務と責任は、そこから出発するのではないかとずっと教わってきたように思う。逆転したような（質量ともに）記述が感じられ、グローバルな人間、主権者としての人間を育てるのに、ふさわしくないと思う。

—行政区：右京区 年齢：68歳

19

・公民の教科書

憲法の重要な部分，“平和主義”について育鵬社は記述が少なく、自衛隊や自衛権の記述がほとんどをしめている。未来を担う子どもには、この問題をきちんと学べる教科書を使って欲しい。自由社にいたっては、安全保障の問題にすりかえているように感じて怖かった。

・歴史の教科書

第二次世界大戦をどうとらえているか。・何故起こったのか。・どのような戦争だったのか。・それは日本とアジアの国に何をもたらしたのか。・そこから学ぶべきものは何か。などがきちんとわかる教科書がよいと思う。大東亜戦争などとわざわざ書いた教科書にはおどろいた。

—行政区：右京区 年齢：70歳

20

・東京書籍の「公民」は、日本国憲法の基にある教育基本法に貫かれており、未来の子たちに渡すことのできるものだと思えました。日本国の行ってきた負のことがら、侵略戦争や、誤った裁判のことも、著されてありました。人間は誤るものであるが、自浄作用ももっているということを伝わると思います。

—行政区：右京区 年齢：66歳

21

・公民 日常生活に必要な知識がもう羅されていますが、教える側も学ぶ側も量質ともに大きく、教員の力量によって大きく差が出ることを感じました。授業のための準備の時間の保障が必要だと思います。P57 ハンセン病について書かれています。療養所は熊本以外にもあり、ここで療養せざるを得なかった人の苦しみを伝えていくことが必要に思います。

—行政区：右京区 年齢：未記入

22

・学び舎の「ともに学ぶ人間の歴史」は、史実に基づいて書かれていました。もう一つ、つっこんだ評価がほしいところも多々あります。史実に基づいているし、基本的に教育基本法の理念にはそっているかなと思いました。文字にはルビもふってあり、学習の助けの工夫もされていました。

—行政区：右京区 年齢：66歳

23

- ・公民と歴史 育鵬社と自由社はやめてください。
- ・近代憲法の基本・立憲主義と日本国憲法の理念（平和主義，国民主権，基本的人権）をないがしろにしないで大切に教科書を使って下さい。
- ・戦争の被害や加害について，あまり触れないでアジア解放のための聖戦であったかのようなとらえ方をしている教科書は使わないで下さい。平和主義って安全保障・自衛隊のことでしょうか？こんな風だからアジアの国々との和解が進まないのではないのでしょうか。
- ・光村図書，国語 山極寿一氏 書きおろし「作られた『物語』を超えて」とても良い内容で，ワクワクしました。子供達の幅広い視点で物を見る感性がみがかれ，考えさせる良い教材だと思いました。「挨拶―原爆の写真によせて」石垣りんさんの詩も，どきっとさせられました。胸にとどく詩でした。わたしを束ねないで。新川和江さんも良かった！

一行政区：右京区 年齢：63歳

24

- ・歴史の教科書で，自由社を見ましたが，戦争について美化された表現があったように思います。なので，使ってほしくないです。

一行政区：右京区 年齢：40代

25

- ・私達の時代はなぜか，子供時代に日本近代史についてあまりくわしく学んでいません。その点で特に戦争がなぜおきたのか，なぜおこされたのかという事を学校でしっかり学んだ記憶がありません。歴史の教科書の展示をみて，これから戦争をおこさないためになにをしたらよいかを子供達に学んでほしい。史実をしっかりと見つめて欲しい。都合の悪い事から目をそむけない事が大切。その意味で，資料を多くあげられていた。帝国書院の歴史教科がととてもよく理解できました。育鵬社の日本が戦争を初めていく課程についてを読むと，とても一方的なもの，狭い見方というのを感じました。子供達に事実をしっかりとわかる教科書にして欲しい。

一行政区：右京区 年齢：71歳

26

- ・歴史の教科書を見せていただいて，自由社の教科書は戦争についての扱いが他社のものと違うように感じました。天皇の記述が多く，おこなってもよい戦争はあると書いているようで違和感があり，こわい。子どもには，自由社以外の教科書を使用してほしいと思いました。

一行政区：右京区 年齢：30代

27

- ・自由社「新しい公民教科書」は，執筆者が少なすぎて傾った考え方の人で書いていると思う。こんなに世界規模になっている現代，8人で全分野を網羅できるわけがありません。明らかに傾った人でつくったと思われても仕方ありません。
- ・P50. 日本国憲法は，GHQ案を受諾するしかなかったという記述はちがいます。また，その後の経過記述P51もちがいます。P52 日本国憲法の原則もちがう。日本国憲法は「国が守るべきもの」という基本が書かれていません。また，P52 右欄 ①の国民主権は，国民全体としてもっているもので～もちがうし，第9条の記述もちがう。

一行政区：右京区 年齢：66歳

28

- ・日本文教出版「公民」について，史実を正しく記述しています。章ごとに「学習の整理と活用」「スキルアップ」「資料のよみとり」など，ポイントが書かれてあり，教える側もやりやすいと思われます。文字にはルビも多く，アニメ（絵）も使って子どもたちに親しみやすいと思います。

一行政区：右京区 年齢：66歳

<左京区図書館>全 55 件

1

- ・よい試みであると思うが，一部の自称“市民団体”による政治的支援が教科書に色濃く反映されているという状況を感じ，教育への汚染の深刻さが大変懸念される。声の大きい支援ほどよく響き，穏やかに暮らす人々の心の平和がどれだけ傷つけられているか。教育に熱意を注ぐ人々が方向性を見誤り狂ったように「平和」を主張するという暴力。子どもを兵器で自らの政治的主張の正当性に利用するあざとさ。どうす

れば日本の教育がよくなるのか考えさせる体験が展示会にあってもよいかもしれない。

—行政区：左京区 年齢：32歳

2

・自由社公民

日本国憲法 (P158～) 最初に天皇 4 ページ, 次に権利と自由を対立させ, プライバシー権, 環境権等での憲法改正を導出している。P72～の安全保障ではことさら自衛隊を強調し, 徴兵制にまで導き平和に対する努力よりも武力による解決を……。という主旨は許されない。

・育鵬社歴史

P31 大仙古墳天皇の善政……。老いも若きも力を合わせ……。歴史的検証は?
P38 外来文化を取り入れてゆく寛容さ……。は変だ。よいものは良いというのが本すじである。
P27, P41 等々 各地で反乱, ……のあいだに反乱等 中国史悪, 日本史善
P50 神話 ～ P257 天皇史観であり, 第2次大戦の戦争開始の罪は何故ない?
P173 北方領土 日本自身サンフランシスコ条約で放棄したことの記述はない。
P182 立憲主義を強調しているが, 天皇大権・基本的人権の欠如等により戦争への道を歩んだ。
P228 満州国の発表 よくある日本の占領地は以前より改善されたというまやかし P236P237
P241 天皇が戦争を終わらせた? 広島, 長崎の原爆記述はないのは?
悪共産, 全資本主義構図は使いふるされた概念であり, 正確さを欠く。

—行政区：左京区 年齢：65歳

3

・(公民歴史について)

(教育出版) 単限毎に自分で考えるポイントが示されているので自分で考える力がつく様感じた。

(学び舎) グループで話し合うポイントがあり, 内容も色々な角度からみれるので良いと思った。

(自由社) 内容にかた寄りがあると感じる。ダメ

(育鵬社) かたよりすぎ

(東京書籍) 領土問題で国際解決がなされていない中, 日本の固有と明記するのはどうかと思いました。他は, あたりさわりなく感じました。これだけ国際化が進み物事が複雑化している中で, 公民や歴史はこれからの子供たちにはとても, 大切な, 教科だと思います。ちゃんとした選定で, 決定してもらえる様におねがいします。

—行政区：左京区 年齢：43歳

4

・中学校の歴史教科書について

「育鵬社」「自由社」の教科書は, 太平洋戦争を, アジアをヨーロッパ列強国から開放するためだったとしていること, 東京裁判に対する評価は現在でも定まっていないとしていることなど, 歴史の事実に沿っていないと思われます。又, 戦後から現代の日本の歩みについての記述が少ないなど, 国民視点に欠けると思われるので, 採用しないでほしいと思います。

以上の点を比較すると, 「東京書籍」の方は, 戦争の加害と被害の両面からとらえられた記述が見られ, 現憲法の下での国民の運動や視点も書かれていて, 子ども(生徒)達が考えたり討論したりするのにいい材料を提起していると思います。この方の採用を希望します

—行政区：左京区 年齢：71歳

5

・育鵬社の歴史教科書を読みました。特攻隊の方の記述を読むと戦争は仕方ないもの戦争賛美ととらえていましそうな内容です。中学生に戦争はまちがっている, 平和が大切なんだと教えることが必要なのに方向がまちがっていませんか。心配です。中2の息子に「教科書を信じてはいけない」と教えることがあるとは思っていませんでした。

—行政区：左京区 年齢：45歳

6

・社会の教科書について

自由社

天皇や戦争, 国民の権利義務について片寄りすぎていて一方的な思想を押し付けている。不採用をお願いしたい。

育鵬社

戦争責任や戦争中での国民の行動被害について、あいまいに書かれており、国の責任を回避している。不採用をお願いしたい。

- ・理科，数学

啓林館は理解しにくい。不採用をお願いしたい。

—行政区：左京区 年齢：未記入

7

- ・育鵬社（公民）日本国憲法の制定についての記述が憲法をかえようとしている今の時期にあわせるように「GHQが（一方的に）きびしく迫った」と書いてあるのは一方的すぎる。

- ・自由社（歴史）沖縄戦

「県民が自決した」という表記はまちがいであると思う。

- ・育鵬社（歴史）日本国憲法の制定

「わが国が～～声が上がりました」前半の理由が憲法改正へとむすびつくのはちがっている。

—行政区：左京区 年齢：62歳

8

- ・育鵬社の特に近現代史の記述に、とても異和感を感じます（新しい日本歴史）

自由社の歴史観もおかしい。両者の教科書は採用しないで下さい。

—行政区：左京区 年齢：未記入

9

- ・中学校の社会科の教科書をみました。

・学び舎の歴史教科書は、他の出版社の教科書より大きいということもあり、大変みやすい（読みやすい）です。取り上げている人物も今までの歴史教科書とは異なり観点である人物も多く、私たち“普通の市民”の間隔に近い記述に好感がもてました。

- ・自由社，育鵬社の2つの出版社の教科書には、「これで子どもたちに教えて良いのだろうか」という不安、心配がふくらみました。例えば、大日本国憲法の取り上げ方についても、史実とは違うと思いますし価値観の押しつけをされている気分になりました。公民でも、例えば、「夫婦同姓制度も家族の一体感を保つはたらきをしていると考えられます」と書いてありましたが、根拠のない書き方であり、時代は変化しているのにかなり遅れた考えだと思いました。このように「？」と首をかしげてしまわざるを得ない箇所が多いです。この2つは選ばないで下さい。

—行政区：左京区 年齢：43歳

10

- ・学び舎の社会（歴史）はとても正確で子どもたちがきちんとした歴史を学べる内容だと思う。

- ・育鵬社の公民は安倍首相の写真が多く問題だと思う。国際平和の項でも集団的自衛権の説明が片寄っている。歴史については、沖縄の記載が少ないと思う。

—行政区：左京区 年齢：64歳

11

- ・育鵬社の教科書は戦争に反対している国民のはでてこなかったもので、のせてほしいと思います。

—行政区：未記入 年齢：未記入

12

- ・公民～有事への備えの所～ 育鵬社

自衛隊の働き～憲法9条の集団的自衛権は有するが…憲法9条の解釈をめぐり…。憲法9条を守り国民の意見を聞くことが大切です。解釈は本当に国民の声を聞いていたのか…。正しい方向は？憲法を守り平和主義を防衛することが大切。

歴史～空襲の被害と沖縄戦 育鵬社

米軍の攻撃で逃げ場を失って集団自決に追い込まれた歴史を正しく伝えて欲しい。集団自決は日本軍による命令によって行われている。

—行政区：左京区 年齢：未記入

13

- ・中学社会歴史教科書自由社のものについて 歴史と神話は明らかに別のもの。「歴史的事実として取り扱うことはできない」としながら神話を日本の国の始まりとして4ページも使って述べているのは歴史とフ

イクシヨンの混同。それ以後は天皇中心の述術の色合が濃いものとなり、歴史というより物語としての読み物となっている。記述の仕方がすべて事実より出発ではなく情から出発している点もこの自由社の教科書は問題である。またところどころにあるコラムなど教科書にふさわしくないものが多い。「日本の近代化とアイヌ」の項についてはアイヌの人達の生業や文化を無視した政府のやり方を「日本国民として保護」と書いてあるのはおかしい。第二次世界大戦へむかう動きについての述術は全く一方的である。また戦争の描き方も一方的で「日本の諸戦の勝利は、白人の植民地の人々に独立への夢と希望を与えた…」のところなど東南アジア、インドの方から見れば全く事実と違う。「沖縄戦」のところも「日本軍はよく戦い沖縄住民もよく協力した」などということで語られていいのか。「日本国憲法の制定」については10行程度でその本文の紹介が全くない。これは「大日本国憲法」及び「教育勅語」の記述と比べて全くおかしいこと。

—行政区：左京区 年齢：64歳

14

・社会科について

日本と世界の歴史を正しく学ぶことが今こそ大切なときはありません。「育鵬社」の採用には強く反対いたします。

イとくに私はアジア各国との友好、交流の為には明治以後第二次世界大戦時の日本の加害責任をしっかりと学ぶべき

ロ沖縄戦の内容（P239）など沖縄県民が納得しがたい点、日本軍に共生、共死を強いられた点、集団自決が日本軍による命令によって行われた点など正しく学ぶ必要がある。

ハ歴史公民とも、現安倍首相、橋下氏などの写真が多すぎると思います。

「自由社」 神話の取扱いに疑問です。「歴史的事実として扱うことはできない」と表しつつ、こんなに詳しく学ぶ事は、戦前の「天皇中心」に統制された点を考えてよくないと思います。

※てんじかいじょうがもっと良くわかるよう、館内の案内を充実して下さい。

—行政区：左京区 年齢：66歳

15

・日本にとって都合の悪い事実を隠すような記述のある教科書でなく、日本が今まで行ってきた事実を正しく伝えるような教科書であってほしい。（特に社会科関係の本）

—行政区：左京区 年齢：58歳

16

・教育出版の「歴史」はなかなか興味ぶかい。子供に興味を与えようとすぐれた資料も使っている。

・学び舎の「歴史」は写真資料がよくぞさがしてきたと思うほどおもしろく、ひきこまれる、映像の時代の子供たちにここから入って各ページ読んで、自分のイメージをふくらませ過去に思いをはせることができるのでは。子供には学びやすいテキストになっている気がする

・育鵬社「歴史」はとくに現代P222～241の第二次世界大戦にいたる過程と終戦までが、自国の民とアジアの民をどれほど苦しめたかがつたわからない。これを子供たちにイメージさせるものでなければ次世代が平和な国際社会を作る主人公にならない。

・育鵬社の「公民」は中国や北朝鮮を敵として子供たちに悪いイメージをうえつける。大切なのは未来をつくる子供たちが近隣国と戦いをせず、うまく国際的につきあっていくところが必要であり、このテキストで「敵」の意識をあおられる。テキストとして賛成できない。

—行政区：未記入 年齢：未記入

17

学び舎『歴史』・・・大変良い。買って歴史の勉強をしたくなる。

・世界史の中の日本史を広い視点で書いてあり、グローバル化の時代にふさわしい。

・生活の中の歴史をとらえていて、なじみ易くわかり易い。

・「日本の成り立ち」についても最初にしっかり書かれている。「文化・伝統」も歴史の流れの中で時系列でとりあげられており、理解しやすい。

・コラム、資料なども文献に基づいていて、育鵬社のような私見に基づいていないので正しい知識として信頼できる。・最終章は「歴史」と「未来」に向ける手がかりとなる内容で学ぶ意欲が湧く。

自由社『歴史』…琉球処分やアイヌへの政策など事実と違う。日本が起こした太平洋戦争を「大東亜戦争」と呼び、アジア解放、東京裁判で無実で処刑された、など国際社会では通用しない内容。神話の神々の系図に至っては笑うしかない。

育鵬社『歴史』…「わが国の伝統文化」にページを使いすぎます。

育鵬社『公民』現在事実として確認されている事がらよりも、「9条解釈」「改憲」など一方的見解が多すぎ正しく現代社会を理解できない。2社ともに原発の事故の「事実」をもう少し書くべき。展示室の案内がなくわかりにくい。図書館とあったので図書館に行けば尋ねなくてもわかるようにしてほしい。狭いとは思いますが、館内の方が多くの人に見てもらえるので工夫を希望します。

—行政区：左京区 年齢：58歳

18

・歴史教科書について

史実を正確に発達段階に応じて理解できるように作られたものでなければならないと思います。特に、戦争の内容の伝え方は、実際の事象を正確につたえるものであるべきです。育鵬社のものに同感できない表現あり。アジアへの日本の侵略、各国の人々に苦じゅうのおしつけ、ナチスドイツ、ヒトラーの行ったこと、沖縄の集団自決の軍のおしつけは明らかに記じゅつ不足、誤りがあると思います。また、趣意書にあった”国を愛する”姿勢をつくる・・・というのは、歴史で学ぶ目標ではないと思います。歴史から（過去の事実から）学び、これからどうすべきかと考える材料つることが第一であると思います。そのような意味で史実ねじ曲げの育鵬は不適と思います。昭和天皇の記述ページは多すぎます。原爆の記載ページの多い学び舎のものは戦争の被害をよく伝える写真も多くありのままを知ることが出来ると思います。憲法作成のとき研究会が作成一となっており正しい記載と思います。

—行政区：左京区 年齢：55歳

19

中学歴史—育鵬社

- ・神話—実在しない人物をあげて色々と記述するのは非科学的
- ・世界大戦—戦艦大和など大きく評価するのはどうかと思う—軍国主義礼賛
- ・戦死者、特攻隊員の死を美化している。日本の侵略性をかくし、逆にアジア諸国民を解放したかのような記述のしかた。
- ・平和に対する罪を過去にさかのぼって適用したことの不当性という記述。

中学公民

- ・日本国憲法がいかにもアメリカから押しつけられたといわんばかりの記述が事実と合わない。
- ・天皇の扱い—国民の精神的な支柱として国民が一致団結して国家危機をのりこえてきたというのは象徴性を逸脱している？
- ・自衛隊の災害援助面を大きく評価して軍隊としてアメリカと一体になって実力行使する面をかくしている。
- ・現憲法の中で自衛隊の関わりと大きく記述している。
- ・憲法改正に夏を多くとっている。世論調査で改正の方が多いのを持ち出している（読売）。

—行政区：左京区 年齢：79歳

20

- ・中学校のしか置いてありませんでした（高校のが見たかったのですが）
- ・自由社の新しい歴史教科書と東京書籍の新しい社会歴史を読みました（主として近代以後を）どちらも大筋を読み易く流していて、深い問題の潜むところをみせないようにしている感じがします。教える先生方がそういう書かれていない歴史のひだをほのめかし語って下さるよう是非おねがいします。たとえば、領土のこと。今の日本政府の見解に従って書かれていますが、それはまあ当然といってもいいかもしれませんが、中国の子は、朝鮮半島の子は、どのように教えられているのか、また、国境というものが、いつごろはっきりさせられてきたのか、という歴史を話していただけたら、未来に生きる子どもたちに、広い視野を与え、私たちの気づかない解決が見つかるかもしれないからです。

—行政区：左京区 年齢：80歳

21

- ・学び舎のともに学ぶ人間の歴史は大変わかりやすかったです。事実が分かりやすく書かれ、意欲的に学べると思います。是非、子ども達に学ばせて欲しいです。
- ・育鵬社の歴史、公民は憲法解釈の記述が疑問です。事実に基づき、正しい歴史解釈を子どもに教えて欲しいので、選定しないで欲しいです。

—行政区：左京区 年齢：66歳

22

- ・育鵬社の「新しい日本の歴史」「新しいみんなの公民」
一方的な側からの書き方で公平とは思えませんでした。
- ・学び舎の「ともに学ぶ人間の歴史」
中国での戦争の起こりなど事実が書いてあった。政府だけの動きでなく人々の戦争の時の事実等両面から書かれていて良い印象。平和が大切にされているように感じた。

一行政区：左京区 年齢：未記入

23

- ・中3の国語の教科書の読み比べをしました。単なる感想ですが、光村図書と学校図書のものが読んでいてとても気持ちがよかったです。特に学校図書の一頁目からの導入がびっくりするほど素晴らしかったです。

一行政区：左京区 年齢：23歳

24

- ・育鵬社 新しい日本の歴史 P217 全国水平社に関して、8. 9 2つのコラムがあるが、それは1つにして、治安維持法について、その内容をもう少し詳しく述べるべきではないか。P255 現憲法がGHQにより一方的、強制的におしつけられたものだという表現は極論ではないか。国会内でも議論はなされたはず。この憲法によって日本は70年間平和で戦争のない国として世界に認められてきたことの評価が必要。

一行政区：左京区 年齢：69歳

25

- ・帝国書院の中学生の公民 選挙制度で小選挙区制は大きな政党が有利であり死票が多くなるときちんと書かれておりよいと思った。大日本帝国憲法と日本国憲法が比較してかかれていてわかりやすかった。前文程度は全部かかっているといいかなと思った。育鵬社の新しいみんなの公民 大日本帝国憲法の天皇制のもとで戦争へと進んだことがはぶかれ、国民には法律の範囲内で権利と自由が保障されたなど美化して書いてある。象徴天皇としての天皇になったのに51頁全般に写真けいさいはおかしいのでは？
憲法改正の項 国会で集団的自衛権が憲法違反と問題になっている件に一方的に見解を書くのはまちがっている。

一行政区：左京区 年齢：71歳

26

- ・展示会の場所が分かりにくいです。玄関に分かる様に掲示して下さい。教科書によって日本国憲法の解釈の違いがあまりに違うのに驚きました。育鵬社の新編「新しいみんなの公民」は今の（政府安部政権）に都合のいい観点で作られているのではないのでしょうか。憲法改正についても都合の良いデータだけをとり上げています。「集団的自衛権容認閣議決定」が先取りされています。一方的な見方で書かれている教科書は危険だと思います。「社会」の教科書は世界の史実に乗っかって公平な観点で採択してください。

一行政区：未記入 年齢：未記入

27

- ・自由社・公民 P4 グローバル化が進む世界→事実の記述はあるが、スーパーの食品売り場に世界中の食材が並ぶ一方で日本の食料自給率が下がり続けていることへの記載がない。負のグローバル化にも一切触れられていない。同 P8～現代日本の課題、全体に「国民」に自覚を求める記述多く、国、政府の責任は一行しか書かれていない。道徳の教科書？なのか。P25：共働き夫婦の女性の負担軽減を男性の配慮と協力のみを求めるのはおかしい。社会的支援の必要性が書かれていない。P29 ニートやパラサイトシングル为解决が「自分を磨き、自立した社会人」として努力すれば可能のような記述では不十分。P32～P34 国民の義務は納税と憲法に位置付けられているが、政治に従う義務、立場ではない筈。リンカーンの演説も以前は「人民の」だった。わざわざ「国民の」にした意図は？第2章：明治憲法を優れたものとして称賛、内容をチョイスしての記述多すぎる。現憲法はGHQの指示によるものであるが、「拒否」「検閲」などの記述がめだち押しつけ感を強調している。改憲の動きとその手続きが政府の代弁のように詳細に書かれているのは問題では？憲法の特に権利と平和、安全保障問題で個人の権利を国（政府）の下に置くような考え方をおこさせる記述が多い。憲法9条で改憲への議論、並列してあるのは良いが、P75で最後にまとめるに述べることで結論を誘導していないか？

一行政区：左京区 年齢：74歳

28

- ・自由社・公民）選挙制度の矛盾についての記述なし（特に小選挙区制）。マスメディアと世論の形成の記述

は概ね良好でメディア・リテラシーに触れてあるのは良いと思う。P118 企業について→現在企業間格差や、非正規雇用による賃金、処遇格差が生じていることへの問題提起がない。消費税が逆累進制であることに触れられていない。(要所要所に憲法の条文がそのままイラストなどで紹介され、末尾に日本国憲法全文が載せてあるのは良い。) 全体として自由社の内容は社会や政治の現象・事実についての記述はバランス良く書かれている。しかし、何故そういう現象がおきてくるのかについて考えさせる記述が少ない。憲法問題、安全保障問題はこの教科書で学んでいく中学生たちの将来を決める問題であり、単に「こういった解釈がある」という記述に終始するのは無責任ではないか。改憲の動きや狙い、国民一人ひとりの基本的人権についてももう少し詳細に述べるべきだ。“愛国心”“天皇”などの記述にページを取りすぎていると感じる。P164～167 に政府の言い分がそのまま書かれている印象、反対意見についても述べてほしかった。環境破壊、原発問題記述なし。

—行政区：左京区 年齢：74 歳

29

- ・治安維持法の中味についての記述がただ共産党などの活動を取りしめるためのようになっているが、その時の世情、何故そういった活動が起こってきたのか、自由を求める人達の活動をおさえるための方であったことを明記すべきだと思います。(日本文教出版・歴史) 戦争下において朝鮮や中国から数十万といわれる人々が動員されたとの記述は強制連中であるのは事実であると思います。(日本文教出版・歴史)

—行政区：左京区 年齢 70 歳

30

- ・現憲法についてアメリカのおしつけで成立したとの表示は歴史的に正しくないと思います。(育鵬社公民) 沖縄戦で自決におこまれた沖縄県民は自発的なものでなく、軍の圧力によると証言が明らかにしています。治安維持法についての中味に不十分さを感じます。君主制の廃止や私有財産制度の否認をめざす活動を取りしめるためではなく、自由を求めた活動、戦争反対の活動などを取締まる法律でした。(育鵬社歴史) 日本の侵略戦争をアジアを解放する戦争との表示は今の認識から 180° の差を感じます。(育鵬社歴史)

—行政区：左京区 年齢：70 歳

31

- ・育鵬社 (公民) について
日本国憲法の制定をGHQが日本政府に押しつけたような記述だが、当時、日本国内の憲法学者達も集まって憲法草案が作られ、それも取り入れられた事や国連憲章の平和条項も参考にされた事などが記述されていなく、一方的な意見に片寄りが見られる。他の章でもこのような傾向が強く見られるので、育鵬社の公民の教科書は採択しないようにして下さい。
- ・育鵬社 (歴史)
世界中で認められているように、侵略戦争であった太平洋戦争を自存自衛のため、またアジアの国々を解放するための戦争であり大東亜戦争と名づけた記述は、歴史の事実と反するものである。このような育鵬社の歴史教科書を採択しないで下さい。

—行政区：左京区 年齢：75 歳

32

- ・自由社 (公民)
日本国憲法の項で、天皇についての写真や記述が多く、特に「対外的には天皇は諸外国から日本を代表する元首 (太字) として待遇を受けることがあります。」との記述は、象徴である天皇を元首として思わせるような記述でおかしい。基本人権の保障については、もっと詳しく、ていねいに記述すべきだ。国民の義務を強調しすぎて、国民の権利については記述が弱い。自由社の公民の教科書は採択しないでください。
- ・自由社 (歴史)
侵略戦争であった (誰もが認めている) 太平洋戦争を自存自衛のため、アジアを解放するための戦争であったと記述しているのは日本の歴史の事実を歪めるものであり、子ども達がまちがった日本の歴史を学ぶことになるので、自由社の歴史教科書は採択しないでください。

—行政区：左京区 年齢：75 歳

33

- ・育鵬社「新しいみんなの公民」
P49 日本国憲法 国民主権と書いてはいるが、憲法の「承徴天皇」を越えて、天皇制が強調されている。天皇の写真が3カ所も掲載されている。国民を主体にすべき。P57 第9条と自衛隊 下から6行目「政府

はここでいう戦争とは…」と自衛のための必要最小限度の実力をもつことは憲法上許されると解釈した政府をようごしている。P60の集団的自衛権を行使することができる」と解釈を変えるべきだとの主張もあると安部内閣の「閣議決定」が先取りされているが、教科書ではもっと中立であるべき。

—行政区：左京区 年齢：65歳

34

・戦争法案が話題となっている中で二つの戦争をとおして戦争は絶対ダメだと学べる内容になっているかの視点でみたとき、育鵬社と学び舎では両極の開きがある。育鵬社の歴史では戦争がどんなものだったのかが検証されていない。

—行政区：左京区 年齢：65歳

35

・自由社の中学校歴史教科書について

P186 大日本帝国憲法の項目で「国民は選挙権を持ち…」とあるが、国民全員に選挙権があったわけではないことを名記すべき。細かいところをあげると書ききれませんが、近代についての記述、特に第2次世界大戦、太平洋戦争に関連する記述に違和感を覚えるところが多いです。沖縄戦についてもっと詳しく書いてほしい。広島と長崎の原爆投下についてその被害についてきちんと書いてほしい。慰安婦問題は書かれていないし、日本がされたことばかりが強調され、日本軍が行った残虐な行為もきちんと書くべきです。日本国憲法についてもおしつけ憲法であるように書かれているのは事実をきちんと把握していないように思われます。P266 昭和天皇についてのページ、とりすぎではないですか？どうしてですか？この教科書は使わないでください。

—行政区：左京区 年齢：41歳

36

・数社の中学校教科書を閲覧できる機会を与えて下さったことに感謝します。まず感じたことは、子どもたちが学校で毎日学習する教科のテキストなのだから、子どもたちにとって親しみやすい、楽しい本であってほしいということです。学科の学習の水準を落とすことなく、毎日開いて学習したいと思えるような気くばりを希望します。この点については教科書出版会社によって少々差があるように感じました。次に今世紀の大きな課題であるジェンダーイコオリティーの観点から教科書を読みこむと、ジェンダーイコオリティー後進国の日本を改善するような教科書は残念ながら見当たりませんでした。某出版社の歴史の教科書に平安時代の「女流文学」というコーナーがあるのには目を見張ってしまいました。女流文学コーナーを設けるのなら、男が流文学コーナーを設けてはどうでしょうか？いつまでもいつまでも女性を特殊、男性が普遍という位置づけをしていると時代に取り残されてしまうのではありませんか？この世の人類の約半分は女性です。それにセクシュアルマイノリティーの人たちも生活しています。この世は“みんなが違ってみんないい”っていう世界になっていると私は感じています。ぜひ一緒をお願いしたいものです。最後に現在大問題になっている日本国憲法について。現憲法ができてから今日まで、力づくの既成事実によって現憲法をつぶしてしまおうとする大きな力を、某出版社の公民の教科書から感じ取ることができました。その大きな力はひしひしと迫り、世界で一番進んでいると世界中から憧憬のまなざしで見られている日本国憲法の現在の状態にどのように向き合うべきなのか、考えずにはいられないことになりました。

—行政区：左京区 年齢：未記入

37

・育鵬社の中学歴史教科書について

自分の学んだ頃と比べて、内容がだいぶ変わっていると感じます。特に満州事変～第2次世界大戦について、事実がゆがめられて書かれている箇所が多くてびっくりします。事実を正確に教えることが教科書には求められていると思います。日本がした良いことも悪いことも書かなければいけないのに日本は悪くないかのような記述が多すぎます。なぜこんな教科書が作られたのか、検定に通ったのか？明らかにおかしいと思います。育鵬社の教科書は絶対につかわないでください。

—行政区：左京区 年齢：41歳

38

・[育鵬社]神話にたくさんの頁をさきすぎ。ナチスドイツのホロコーストのことがさらりと書かれすぎ。満州事変前後、満州での日本の権益はあって然るべきだったのか？盧溝橋事件、単なる偶発的な事件ではなく日本軍の計画的犯行（作戦）の一部だったはず。日中戦争は日本がアジアで侵略戦争を起こす目的ではじめたことが明記されていない。東南アジアの独立に道をひらいたということは本当か？それまでの支配

国より過酷な支配だったのではないか？朝鮮，中国などから強制労働を強いたことの矛盾はないのか？沖縄戦，集団自決におこまれたのは日本軍の命令があつてのこと。日本軍のいなかった島ではその参事はなかった。なぜ日本軍が殺したと言わない？治安維持法の内容，犠牲者の数などが全く不十分。そもそも侵略戦争の自覚があるのか疑わしい。[学び舎]こまかいところもおとさずわかりやすく書かれていて安心感がある。もっと時間があつたらゆっくり読みたい。

—行政区：左京区 年齢：46歳

39

・歴史の教科書では，特に太平洋戦争に関する記載に出版社によって大きな差異が認められました。ある教科書では日本政府がこの戦争を「自存自衛」のために行ったものであり，アジアの人々に欧米の支配から独立する希望を与えたということが強調されていました。他の教科書では，戦時中日本によって不当な労働に従事させられたアジアの人々の苦しみ，資料とともに記載されており，戦争のむごさが伝わりやすいものとなっていました。このように，教科書によって戦争についての様々な捉え方があることを，われわれ大人はよく知り，子どもたちには一面的でないものの見方や，戦争の悲惨さをよくよく伝えていかなければならないと思いました。

—行政区：左京区 年齢：35歳

40

・時間がなかったので，一番『問題作』とされる育鵬社の公民のみ見させてもらいました。一言で言えば自分の息子にこの教科書で学んでほしくないというものです。一見公平，公正なような書き方をしていますが，自社の価値感の押しつけがはなはだしく，読んでいて気持ち悪かったです。“日本本来の伝統”“日本人のアイデンティティたるどくじの観念”。上の人達の思う『従順で物言わぬ日本人』にさせたいのだなというのが伝わってきました。憲法の紹介のところで，現在の憲法よりも前の大日本憲法の方を長々と丁寧に説明し，いかにいい憲法だったかとすりこます文には違和感を覚えます。国をしばるものだという記述は少いで，国民は公に順じるという現在の憲法とは真逆の書きぶりもどうかと思いました。家族のページもあくまで“家族”個々人に責任をまかせ社会的な責任には一責ふれない書き方には腹が立ちます。ぜひ，こちらの育鵬社の教科書はやめてもらえたらと思います。

—行政区：左京区 年齢：30代

41

・育鵬社「新編新しいみんなの公民」

P49 日本国憲法の制定についての内容 GHQにより一方的に内容を作成されたような表現になっていますが，日本人の真剣な討議・検討の末に作られたものです。故意にアメリカからの押しつけられた憲法と位置付けようとする意図が見えて危険です。

—行政区：左京区 年齢：74歳

42

1. 教育出版の中学社会「公民」は，日本国憲法の成立経過，憲法の3原則，各人権の内容について公正，正確な内容であり教科書にふさわしい。9条の記述についても平和主義についても意見が分かれる点も含めて事実をそった内容で評価できる。
2. 日本文教出版中学社会「公民」
日本憲法が成立の経過，基本的人権の思想・保障の意味が深みが乏しい。公共の福祉と国民の義務がほかの分野より強調されすぎでは。
3. 育鵬社公民
9条制定の歴史経過の記述不正確・不十分。人権保障の大切さを十分かいてほしい。歴史的経過を十分かくこと。

—行政区：左京区 年齢：67歳

43

・中学社会自由社の「新しい歴史教科書」は昭和天皇を美化しすぎている。(P266)

終戦の決断や2.26事件の決断についてのみとりあげているが，開戦についての決断もあつた筈である。冷静に天皇の責任について論じるべきである。また沖縄戦についても「住民もよく協力した」などと述べるのみで，4人に1人が死亡したり日本軍によって集団自決させられていたことなどへの記述が全くない。客観的な事実のとりあげ方が偏っている。東京書籍「新しい社会歴史」は記述が公平を期そうと努力していることが感じられる。巻尾の「歴史の中の植物」の写真も時宜を得た着想で現代の子供達にはいいと思

う。育鵬社の「新しいみんなの公民」は天皇主権から国民主権に変わったことが明確に記述されていない。国民主権の大切さを伝えようとする意識が乏しい。また、人権が公権力によって様々に侵害されてきたという事実にも明確にふれていない。人権意識を育てようという意識がみられない。

—行政区：左京区 年齢：未記入

44

・「自由社公民」息苦しくて社会科が嫌いになると思いました。「清水書院 公民」をそのあと見るとほっとしました。「学び舎 とともに学ぶ人間の歴史」これで勉強したいと思いました。時間の関係で、また他の人が関らんされていて他は見れませんでした。太平洋戦争を大東亜戦争などと美化して書かれているものは子どもたちに与えてほしくないです。何よりも現場の先生方の意見を尊重して採択を決めてほしいです。

—行政区：左京区 年齢：70歳

45

・新しい歴史教科書 自由社の教科書は史実にもとづかない点も多く採用には反対です。
・自由社の教科書は、歴史を学ぶことの本質を日本の先祖のことや固有の文化などと位置付けているが、このグローバル社会で逆行しているのではないか？
・また、史実に基づくか不明な神話に多くのページをさき「日本は神の国」のような誤った先入観を与えるのではと不安。
・第二次世界大戦の位置づけにおいて、侵略の事実にもふれず、東南アジアなどに多大な被害をもたらした反省もなく、民主化独立に日本が役割を果たしたかのような記述は事実と違う。
・日本国憲法についてもアメリカからの押しつけにやむなく受け入れたかの記述は正しくない。
育鵬社の「公民」も憲法の記述については明確に憲法を尊重し、守り生かして活用する立場があいまい。育鵬社の教科書について採用に反対します。

—行政区：左京区 年齢：68歳

46

・育鵬社の「新しい日本の歴史」について
1. P192～P193 「韓国併合」と台湾に関する記述について、日本が強権的に進めた干涉統治について、記述が軽い。P193の「人物クローズアップ」に台湾にダムを作った八田與一について紹介されているのは、「日本は良いことをした」という論調に基づく。
2. P239 沖縄戦について、県民の膨大な数の死や集団自決に関して、日本軍が県民を全く守らなかったことが全く記述されていない。P242の「歴史ズームイン」も同様。
3. P257 昭和天皇を美化する記述であり、前回の改訂時と同様の問題あり。
4. P50～P51 古事記及び日本書紀は神話から始まると記述はしているものの、史実として確定していないことを記述している。
・帝国書院の「中学生の歴史」について
P222～P223 満州移民及びP230～P231 沖縄戦について明解な記述がされていない。
・学び舎の「ともに学ぶ人間の歴史」について
日本史が世界やアジアの関連の中でわかりやすく記述されていて、学びやすい。各章の最後に復習問題があるのが良い。

—行政区：左京区 年齢：63歳

47

・公民教科書
自由社…P60, 61の2ページもさいて、「天皇のお仕事」を書く必要があるのでしょうか…！憲法には象徴と載っているものでそれで充分である。
育鵬社…P187 自衛隊の国際貢献について踏み込みすぎ。後方支援という名の軍事行動を肯定するような記事を無理やりに子どもに与えてはいけない。平和や安全という美名を使って戦争を賛美肯定するような内容である。以上2社を採用することは反対です。

—行政区：左京区 年齢：63歳

48

・中学歴史
育鵬社…「大東亜戦争」ということばは、一つの思想（思惑）によって作られた言葉であるので正式には「太平洋戦争」ということばで統一すべきです。掲載するならことばの定義をすべき。

自由社…「大東亜」ということばについては上記に同じ。この出版社はまずこれを先にもってきている。著しい偏向である。またこのことばが多用されている。この戦争に正義があったと思わせるような書きぶり。また、侵略戦争であることは、内外が認めているのに、P241 に日本軍の侵略でアジアが喜んだという記載。一部にあったとしてもまぎれもない侵略であるのにこれを出すのは明らかなる偏向、誘導である。P44, 45 歴史の教科書に神話は必要ない。このような変更したものを生徒に渡すのはいかがなものか。

—行政区：左京区 年齢：63 歳

49

・中学社会「新版新しい歴史教科書」(自由社)は、どこが“新しい歴史教科書”なのか?と首をかしげてしまう内容であると思います。太平洋戦争は、大東亜戦争と記述されているし、天皇や支配者側の目を見た記述に偏っていると感じました。驚くのは、沖縄戦、そして広島・長崎への原爆投下についての記述が、わずか1 ページ足らずしか無く、そのことについて深く考えさせる何の工夫も見られないことです。当時の人たちの被害や苦しみ、戦争というものが、いかに人の命を生活を台無しにしてしまうものなのか、戦後もずっと苦しみ続けている人がいることも、この教科書からは学ぶことも感じることも出来ません。多大な犠牲(悲しみ苦しみ)の上に太平洋戦争が終わり平和な時代がやっと来たのですから、二度と戦争はしてはならない、そのことがわかる教科書にして下さい。そうでないこの教科書は“新しい歴史教科書”ではなく、“古い歴史教科書”だと思いました。

—行政区：左京区 年齢：48 歳

50

・「自由社」と「育ほう社」の社会科歴史の教科書は考え方が、古すぎると思います。何より、太平洋戦争に関する記述、民衆、一般市民の目線が欠けていると感じました。私たちの平和な日本は、戦争の多大な犠牲の上に成り立ったものです。戦争について庶民の目から当時の子どもの目から見てどうだったのか、どんな犠牲が払われたのか、二度と戦争は起こしてはいけないという、人間として当たり前のことを深く学べる教材が良い教材だと思います。「自由社」と「育ほう社」の教科書は平和な社会平和な未来を作っていく子どもたちに与えるべきでは無いと、強く感じました。

—行政区：左京区 年齢：48 歳

51

・自由社(公民) 現日本の憲法下において主権国家が当たり前の様に軍事力で自衛権を行える又行うとしていることはいかがなものか?特に自衛隊と日米安全保障体制による安全確保記述は違う。自衛隊の発足からの記述は再軍備の項目によっているのは問題有。おしなべて現日本内の米基地の在ることは条約によって決定したことのみ、その周辺にどのような問題が起き、人命がうばわれている等は記述がない。一方的(現政府は意見のみ)であり、教科書の内容として良ろしくない。生活面での諸問題はその件に関わる人の総意で工夫し納得に解決するようにしているのにおかしいと思われても良いのか。教科書の役割は?育鵬社と自由社の上記の内容では同様の記述がなされているようである。

—行政区：左京区 年齢：65 歳

52

・中学社会「新しい歴史教科書」(自由社)と新しい日本の歴史(育鵬社)に共通していることは、太平洋戦争での記述で、「自存自衛」の戦争としている。しかし、これが明らかに間違っていたことには、いっさい触れていない。第二次世界大戦が、日独伊による侵略戦争・「民族浄化」の戦争であったことは国際的常識であり独では今でもナチスの行為を追及しつづけ、他国に対して謝罪の意を表わしている。これら2社の教科書はこうした世界の常識から逸脱するとともに中国を軍事的脅威・敵国のように位置づけ、軍事力増強を当然視する内容で容認することはできない。また、明らかに意見である集団的自衛権の行使について、政府与党の主張通りの記載があり、偏向した教科書としか言いようがない。平和な未来を担う子どもたちには絶対与えたくない教科書である。

—行政区：左京区 年齢：65 歳

53

・歴史について、学び舎の「ともに学ぶ人間の歴史」(中学社会)がわかりやすいように思った。

—行政区：左京区 年齢：63 歳

54

・自由社・育鵬社に日中戦争勃発の原因や南京虐殺について事実(史実)をもっとしっかり描くべきである。アジア・太平洋戦争を『自存自衛』の戦争とし『大東亜戦争』と名づけました。(戦後は太平洋戦争と呼

ばれるようになりました。)」としています。事実「侵略」を目的とした侵攻・戦争であったのが世界の常識です。「自存自衛」がウソであったことはどこにも書いていません。また、大東亜共栄圏の解説があたかもアジアの国々の植民地から解放したかのような記述がありますが、人々に歓迎（支持）されたのは最初の内だけで、事実（東京書籍）にみるように日本軍の支配の過酷さは英・仏国の（それを）上回り、「各地で抵抗運動が発生した」「日本軍は抗日的と見た人々を厳しく弾圧し、多くの犠牲者がでました。」なのです。このように、育鵬社・自由社・（帝国書院）のものは歴史の事実にとったものではなく「戦争を美化する」内容になっています。このようなものは、教科書にふさわしくないと考えます。

—行政区：左京区 年齢：61歳

55

- ・学び舎の「歴史」—とてもわかり易く、くわしく書かれていて理解し易い。私（70代）の世代には、太平洋戦争の前で授業は歴史が終わっており、高校・大学の受験にも出なかったため近現代史は定年の後自分で学び直さねば何もわからなかった。こんな教科書で学べる今の子ども達はしあわせだと思う。（最後まで学べていれば…）
- ・東京書籍「新しい社会歴史」—記述内容が資料と共にくわしいので理解しやすい
- ・日本文教出版「歴史的分野」—くわしいのだけれど、その時々日本の責任者をフォローする書き方が大変気になった。

—行政区：左京区 年齢：71歳

<伏見中央図書館>全20件

1

- ・育鵬社「新しい日本の歴史」における、第二次大戦までの状況の記述には、疑問の付くところが多々あります。ロシア革命から共産主義へのヶ所においても公平な描き方ではないように思いました。

—行政区：伏見区 年齢：57歳

2

- ・教科書展示会があり大変よかったです。中学校の社会科を見せていただきました。教科書会社によっては、地理がない（育鵬社）がありびっくりしました。また、領土問題について帝国書院には、きちんと“歴史”の所に記述がありましたが育鵬社には何もなくてまたびっくりしました。このほど大事な教科書はどなたが決定されているのでしょうか？基本的知識なしに世界の子供達と議論できません。いくら英語が話せても、もとの知識がなければ無意味です。正しい知識がもてる教科書選定をよろしくお願いします。

—行政区：伏見区 年齢：未記入

3

- ・自由社（歴史）古代史は詳しい割に現代史が薄っぺらい。共産主義に対する記述が偏見に満ちている。太平洋戦争をアジアの開放として日本の役割を美化して描いており、世界史（アジア側）からは、はずれた見方になるのではないか。歴史認識に片寄りがあるのではないか。
- ・日本文教出版（公民）領土問題の記述が一方的ではないか。もう少し歴史を語るべき。安部首相の写真が9回も出ているのには驚いた。原爆死、広島10数万人、長崎7万人は少ない見積りでは？
- ・育鵬社（公民）領土問題では関係国に譲歩する必要はないが、けんか腰の記述という印象。これでは解決できない。原爆死、広島長崎とも少ない見積りでは？ポツダム宣言の6が載せられていないのは何故？安部首相の写真10ヶ所に、驚きます。自存自衛の太平洋戦争は、日本の勝手な理屈ではないか。
- ・東京書籍（歴史）ポツダム宣言6がないのは何故。広島長崎原爆死の数がないのは何故？
- ・東京書籍（公民）国家、国旗の項を新めて書かなくてはいけないのか？
- ・学び舎「ともに学ぶ人間の歴史」初めて手に取りましたが、大変よい印象でした。初めて歴史を学ぶ中学生には具体的なことから、人間を大切にす視点がしっかり書かれていました。侵略戦争という一部の人には認めがたい内容もしっかり記

述している点が貴重だと思います。

—行政区：伏見区 年齢：62歳

4

- ・社会科歴史は、出版社によって違っているのが気になりました。ポツダム宣言、領土問題についての記述が特に気になりました。

—行政区：伏見区 年齢：未記入

5

- ・新しいみんなの公民の中で憲法9条等についてあまりにも今の自民党政権を行うが為の教科書なのだとびっくりしました。教科書は、時の政権に流され作られる事のない様、きちんと憲法を理解できる内容でなければなりません。集团的自衛権についても、違憲であるとの声が多い中、政府は憲法9条に違反しないと考えている等、書かれているのにおどろきです。

—行政区：伏見区 年齢：63歳

6

- ・私自身のことですが、大正昭和の歴史は全く習わなかったです。今年は、敗戦から70年目で連日新聞では沖縄戦のことが載っており、育鵬社の「新しい日本の歴史」と帝国書院の「中学生の歴史」を読ませて貰いました。沖縄戦のところだけですが、育鵬社(P239)の集団自決は戦争が激しくなったからではなく、日本軍の命令によるものであることが書かれていないようです。一方帝国書院(P231)では、日づけや数字が詳しく記され、沖縄戦の様子がよくわかり、「人々が集団死に追いこまれたり…琉球方言を使用した住民が日本兵に殺害されたり…」と戦争のこわさがよくわかります。今もGamma(沖縄の洞窟)には遺骨が残っているとのこと。戦争体験者には、ずっと戦争が終わっていないことに心が痛みます。子ども達がよりよい未来に生きられるよう、過去の悲惨な戦争を正しく知りあやまちを繰り返さないよう、切に望みます。

—行政区：伏見区 年齢：61歳

7

- ・新しい日本の歴史(育鵬社)のP236(15)日本軍の進出とアジア諸国の項で、「アジア独立への希望」という見出しで「アジアを解放する戦争」という記述はふさわしくないと思います。日本のアジア諸国への「侵略」と明記しなければ、戦後処理は解決しません。
- ・P239空襲の被害と沖縄戦の記述「集団自決に追い込まれた人びともいました」と、日本軍の責任に対する記述が不明確であるのはおかしいのでは。日本軍による集団自決に追い込まれたことを、それによって県民の4分の1もの人が亡くなった被害など、他社はきちんと書いてある。

—行政区：伏見区 年齢：65歳

8

- ・9条と平和について、育鵬社の中学公民教科書は、9条が連合軍によって押しつけられたものであり、戦後の平和についても自衛隊と米軍がにらみをきかせていたからだと説明しますが、これでは、先の戦争の悲惨な経験から9条が規定され、9条によって戦後70年の平和があることが子どもたちに全く伝わりません。他社の教科書は、戦前の反省に基づいて規定された9条があったからこそ、戦後日本は再び戦争にまき込まれることがなかったということをきちんと説明しています。

—行政区：未記入 年齢：未記入

9

- ・育鵬社「新編新しい日本の歴史」「新編新しいみんなの公民」は一方的な歴史観や現憲法にそぐわないので採用しないでほしい。

—行政区：未記入 年齢：未記入

10

- ・育鵬社「新しいみんなの公民」
日本国憲法の制定について事実が正しくない。GHQからの強い圧力のもと、ごく短期間で受け入れをせまられた事が強調されすぎていますが、事実は民間団体の草案も参考し修正をうながされました。日本国憲法の三大原則についてはもっと詳しい説明が必要である。「日本国憲法」否定の意図が強くてありますが、他国とりわけ近隣の国々の青少年たちは歴史を正しく学んでいます。国際社会で生きていく日本の人々が正しい歴史認識を持てる教科書を採択されることを願います。権力が教育をゆがめることのないよう願います。

—行政区：伏見区 年齢：69歳

11

・各社の歴史教科書を読み比べてみて、育鵬社、自由社のものは、他社のものと違い、神話にみる国の始まりについて多くのページを使って記述されていることに違和感を覚えた。更に、大日本帝国憲法の立憲主義を高く評価したり、自存自衛のための大東亜戦争を天皇の聖断によって終わらせたという記述（育鵬社）等を合わせて読むと、いわゆる戦前の天皇中心の政治の考え方を賛美している内容だととれる。また、日本国憲法の戦争放棄を、GHQによって交戦権を否認させられたと解釈している点についても、日本を戦争する国にしようとしているように読めて、学校教育で使用する教科書としてふさわしくないと感じました。

—行政区：伏見区 年齢：56歳

12

・昨年度の小学校教科書展示会でも意見を出しました。幸い心配していました教科書（社会科）は採択されず、安心することができました。今年度は、中学校教科書です。今、国会では戦争立法が審議されています。かつて、日本が犯したあやまちを繰り返さないためにも、子ども達には、世界でも通用する正しい歴史認識を身につけて欲しいと願います。時間をかけて社会科の教科書を見ました。第二次世界大戦、戦争に対する見方、考え方がこれほどまで違うのかと思うほど編集に差があるのがわかりました。自由社、育鵬社の教科書は採択しないで下さい。日本の行った戦争を肯定するまじがった考え方を、子ども達に伝えるわけにはいきません。※展示場所に、イスの設置をお願いしたいです。

—行政区：伏見区 年齢：63歳

13

・歴史教科書について、育鵬社と自由社のように歴史を歪曲し、戦争へと誘導していくような間違った教科書を日本のこれからを担っていく子ども達に与え、学ばせるわけには絶対にはいきません。昨今、教育の場でも、グローバルな人材の育成を声高に推進していますが、グローバルな人間に必要な力は時刻をアピールするだけの力ではなく、世界の他の国々の人達と心を尽くして話し合い、力を合わせて問題や紛争を解決していく力だと確信致します。世界の人々を友情を持ってつながっていける子ども達を育てるうえにも教科書は世界でも通じる歴史認識を持った内容のものでなければいけません。

—行政区：伏見区 年齢：50歳

14

・「集団的自衛権」について、今国会での十分な討議がされていない中、現政府の見解を教えるのは違うのではないかと。
 ・「沖縄と基地」について、沖縄での現状には触れず、沖縄の住民たちの声も紹介されていないのでは生徒は正しい判断ができない。また、沖縄の基地については「日本政府は負担軽減は行っている」という育鵬社公民の記述は間違っている。
 ・歴史の教科書について、ことさら神話が強調されたり、架空の人物の記述が入られるなど必要ない。
 ・領土問題について、日本と韓国・中国がどう関わってきたのか事実に基づいた記述と共に、なぜもめているのか、どう解決していけるのかを記述してほしい。北朝鮮は、危険な国と決めつけてしまう記述はよくない。

—行政区：伏見区 年齢：60歳

15

中学社会教科書見本本について

・「日本国憲法」についての記述…育鵬社歴史教科書には、「憲法の草案は連合軍司令部から一方的に押しつけられた」とあるが、他の教科書（教育出版等）は、「連合軍司令部は、民間の憲法研究会案などを参考にした草案をつくって政府に示し（当時の国会で真剣な議論が行われた）議会での審議と修正の末、交付された」とある。育鵬社は事実を則して記述すべきだと思う。
 ・育鵬社の歴史教科書は、日本のアジア侵略を「欧米による植民地支配からアジアの国々を解放するため」と正当化しているのはひどいと思った。他の教科書のように、資源を得るための「侵攻」或いは「侵略」と事実を則した表現にされることを望む。

—行政区：伏見区 年齢：64歳

16

・18才になった選挙権…ということで“教育”に大きな変化があるのではないかと見ました。最近の世代ということでどの教科書も絵や“マンガ”やクイズ形式のものが映されてはいました。でも、主権者を育て

るという点で考えるなら、育鵬社の歴史公民はあまりにもかけはなれていると思いました。昭和天皇のあつかい（国民とともにあゆむ）や、神話をここのほか歴史上の事実のように書かれているように思いました。主権者として育てるために、そういう教科書は使わないでほしい。そして生徒の実態を知っている先生方の意見を第一に考えて採用してほしいものです。

—行政区：伏見区 年齢：63歳

17

・歴史

自由社の記述は物語（としては）にはおもしろいですが、一面的なとらえ方をしているため、教科書としてはよいものではないと考えます。

—行政区：伏見区 年齢：63歳

18

・歴史教科書 自由社 育鵬社とも今国民の大きな関心になっている憲法、特に戦争放棄に対する記述が不十分、不正確に思いました。国民の平和への切実な願いのもとに実現したことなど、子どもたちにしっかり伝えていくべきこと、これが十分に伝わらない。この2社の教科書は採択されませんよう願います。

—行政区：伏見区 年齢：64歳

19

・社会、特に歴史についての記述が気になり閲覧しにきました。戦中の沖縄での集団自決に日本軍の強制があったのか、憲法はGHQに押しつけられたのか、そうでなかったのか、教科書会社によってあまりに違う書き方で、これでは教わる子どもたちが、どの教科書で歴史を教わるかで、認識がまるで変わってしまいます。（戦争は教育からともいます）。私は現憲法は押しつけではないと思っていますし、原爆等で日本が犯した罪の事も事実としてきちんと書かれている本当に中立な教科書が採択されるべきだと強く希望します。

—行政区：伏見区 年齢：未記入

20

・「育鵬社」の歴史について、日中戦争～敗戦の日本がアジア諸国で行った戦争を欧米列強からアジアを解放したものと描いている。「大東亜協栄圏」とか「五族協和」といった戦中の日本（政府）の一方的な見解によるもので、アジアの諸国の資源や労働力を、財界中心の日本経済発展のために、強奪したことをかくしている。国際社会において、自国の歴史を他国との関係を事実に基づいて誠実に省みることができるけんきょさが大事だと思う。安部首相のような自分の考え方のみが正しいと思いこんで、他人の話に誠実に耳を傾けようとしない考え方を育てることになってしまう。「育鵬社」の社会科の教科書（歴史、公民）は採択しないでください。

—行政区：伏見区 年齢：60歳

<東山図書館>全4件

1

・公民について、今まで読んだことはなかったが、各社読んでみてかなりの違いを感じた。子どもは素直なので記述通りのことを、この時期に正しいことだと思込むように強調されるような記述が見られる教科書は採らないでほしいと思う。

・日本国憲法の記述は、歴史の事実は1つなのだが、書き手のフィルターがかかるところもちがうのかと驚いた。自由社と育鵬社は「押しつけ憲法」色を全面に出した記述で特に自由社はここまで曲解するのかと思える書き様で絶対に許されないと思う。どうしてGHQとのくだりをこれまでに誌面をさく必要があるのか？私は、子どもたちに伝える一番大切なことは、この世のことを知ることにおいて、「知る」ことを選択の重要性ではないかと思う。情報を一面的にしか見ない、ミクロ的にしか見ないことはどれだけ危険であるのかを教えてほしいと思う。東書・教育・帝国・日文は新聞誌面比較をしているところがある。帝国・東書・日文はかなり誌面をさいているが、私は統計のトリックにまでふみ込んで記述している日文はすばらしいと思う。これは消費活動をする上でも重要なことで、だましのテクニックにもされることから子どもたちには知っていてほしいと思う。情報の大波の中にいる子どもたちに「情報」の怖さを教えて頂ければと思います。

—行政区：東山区 年齢：52歳

2

- ・育鵬社の「新しい日本の歴史」は、「日本国憲法の制定」について（P255）国会で真剣な議論の上決められたことにはふれず、憲法が連合国から一方的に押しつけられた様で書かれて事実反している。P50 記紀の記述が歴史の様に書かれている。存在しなかった神武天皇の即位した日を建国記念日の根拠にしている。
- ・「なでしこ日本史」のコラムでは、「大和撫子」という戦中、戦前の価値観で作られている。この様な時代錯誤の教科書を子供達に渡すのは、絶対、反対します。戦中、戦前の様に、戦争で死ぬことを、子供達にマインドコントロールする先駆けとなる教科書は採用してはいけません。

一行政区：東山区 年齢：60 歳

3

- ・書写について比較してみた。書写の中に漢字の成立などの記述がどうなのかが気になったからだ。近年、日中関係がキナ臭くなっているからこそ、日本は中国と古くからかかわってきた歴史があることを、文字の成り立ちから子どもたちに伝えてほしいと思う。5 社中、いちばんその記述が短かった学校図書は、全体的に内容がうすいように思う。三省堂は3 ページと多かったが、写真の説明がなくどこの書なのかわからない。光村（キャプションに年号が入っていていいと思う）、東書、教育はどれも説明がきちんとされており、出典がどこなのかわかるのは当然のこととされている様子は、ネット上などで出典を明らかにされないところと対極である。出典が明らかな書物に子どもたちは接してほしいと思う。そのことから学んでほしいと思う。なぜ書写が必要なのかパソコン時代であっても必要であることを伝えている光村の裏の（P119）谷川俊太郎の文は子どもたちが読めるといいと思う。

一行政区：東山区 年齢：52 歳

4

- ・日本の起こした太平洋戦争、多くのアジア人を殺した反省もないような書き方の教科書がありびっくりした。特に「自由社」はひどい。

一行政区：未記入 年齢：63 歳

<吉祥院図書館>全 10 件

1

自由社 新しい歴史教科書 について

- ・神話である「古事記」を詳細に説明し、歴史的意義を教え込もうとする意図が感じられる。
- ・太平洋戦争を「大東亜戦争」と表現し、アジア民族の解放のための戦争と位置付けた。（育鵬社 新しい日本の歴史 も同様）
- ・日本国憲法はGHQの圧力によってやむなく定められ、国民の総意によってできたものではないと表現している（育鵬社 新しい日本の歴史 も同様）

育鵬社 新しいみんなの公民、自由社 新しい公民教科書 について

- ・日本国憲法の成り立ちについて、歴史教科書で教えているように、当時のGHQによりおしつけられたものという印象を強く与える。
- ・自由社教科書では、「天皇のお仕事」として、多くのページをさき、憲法で「国民の象徴」とされている天皇の行為をことさらに強調している。
- ・憲法改正について、くわしく説明し、「現行憲法は一度も改正されたことがない」ことを強調、「古いから」「GHQにおしつけられたから」いかにも改正すべきだという意図が感じられる。

以上のような問題点を持つ、自由社・育鵬社の歴史・公民の教科書は採択に適さないと考えます。

一行政区：南区 年齢：58 歳

2

- ・今、戦争法案や憲法9条がかえられようとして、日本が第2次世界大戦のむぼうな戦争を反省して、2度と戦争をしないとちかたのありようが、問われているなかで、育鵬社・自由社の公民、歴史の記述は戦争賛美、現憲法はアメリカからのおしつけ論がかかわれているよう思います。反対に帝国書院・清水書院は、歴史、国のあり方、立憲主義など、きちんと書かれていると思います。育鵬社・自由社は使わずに、帝国書院や清水書院を使ってほしいと思います。

一行政区：南区 年齢：40 歳代

3

- ・最近の歴史教科書を見る機会がなかったので、このような場があつて良かったと思います。世間で問題となっている箇所はたしかに表記されてはいるがボヤカした表現となっていると確信しました。

(良い悪いは別)

もう少し時間をかけて、全体を見ることをしたいと思います。又このような展示会をして欲しいと思います。

—行政区：南区 年齢：49歳

4

- ・日本に住んでいる中国人です。歴史ということは真実を教えること。しかし、自由社・育鵬社の教科書は日中戦争・東南亜戦争のおしえることはかなり真実と「乖離」しています。こどもにこのような教科書をおしえることは世界の常識と反対だろうか。

—行政区：南区 年齢：68歳

5

- ・育鵬社と自由社の歴史教科書の特に第二次世界大戦についての項目を見ました。
 1. 育鵬社出版は、71の日中戦争の項目（支那事変）と副題をつけていますが、支那は中国をべっ視した言い方で、大戦の終了後、ポツダム宣言を受入れ、侵略であったと認めた日本の国の表記としておかしい、まちがっています。

P257の「国民とともに歩んだ昭和天皇」の項目では、立派な人であったことを押し出していますが、宣戦布告、終戦の決断を遅らせたことは、今は既知の事実である。戦犯にも等しい個人をこのように記述する教科書は子ども達にまちがった歴史を教える。
 2. 自由社の歴史教科書はP246で「大東亜戦争」というタイトルをつかっているが、どの立場からこの言い方をしているのか判断しなくてはならない。侵略戦争をみとめていないのかと判断するが、この表題は現在では精算されていて、使ってはいけないものではないですか。中国への侵略を、まちがっていたと認めないから使用しているのかと。子どもたちにまちがった認識を与える。日中、日韓とも、今は平和を基礎に関係を作る時代だと思います。育鵬社、自由社とも他の東京図書等との記述のちがいに驚いています。教科書に採用しない方がいいです。

—行政区：南区 年齢：68歳

6

- ・まず、こういった企画を行っていることを初めて知り、偶然に展示会を見ることができて良かったと思います。自分の子供時代にくらべ、フルカラーで見やすく読みやすい。写真やマップも多く視覚的にもとらえやすいのではないかと思います。“教える”という視点より“学ぶ”という視点が多いのが印象的です。こちらでは中学の教科書を拝見しましたが、同じときに高校のものも見たかったなと思います。

—行政区：下京区 年齢：40歳代

7

- ・中学対象の保健体育の教科書を見て、私が中学生であった15年前と変わりがなく残念に感じたのは男女の性の違いについて、体や心に変化がある記述についての部分です。ここには思春期になると“異性に関心をもつようになる”とありますが、同性、または両性について関心をもつ人もクラスに1人の単位にいるということを忘れないでほしいと思いました。LGBTについての世間の動きについても載せた方が良くし、理解できる年齢であるという風に感じます。また、妊娠についてはそれだけではなく、愛情についてや、相手への思いやり、相手を互いに尊重すべき点についても教えてほしいと思います。授業でいつもワーキヤーになっていたところ、自分の家庭の不妊について話された先生がいました。それ以来皆、スリルなどを求めてそういう話をしなくなり、大人になった今でも同窓会などで大切な話を聞いたねと、話題になっています。

—行政区：南区 年齢：30歳

8

日本国憲法の制定

- ・帝国書院は、GHQの修正をうけながらも新しい時代に対する当時の国民の期待がもりこまれていたとして国民主権、平和主義、基本的人権の尊重、教育基本法などの説明がていねいにされていた。
- ・育鵬社の説明では、GHQの押しつけで出来た為、憲法改正や再軍備を主張する声があると迄かいている。先の戦争は、まちがっていた侵略戦争であり、日本は二度と戦争はしないと国民の誰もが新しい憲法を受け入れた事実を忘れないで、明記すべきである。他の出版の本にも、憲法改正や再軍備の声があるとは、書いてない。(教科書に書く必要があるのでしょうか?) 育鵬社だけこの様な、説明はおかしいのではないかな。

—行政区：南区 年齢：67歳

9

- ・育鵬社と自由社については、中学校の教科書には、太平洋戦争（大東亜戦争）については、使うのは反対です。
P234, P235, P236, P237 についてです。⇒育鵬社
P238, P239, P240, P241⇒自由社
- ・帝国書院については、中学校の教科書には、太平洋戦争と植民地支配、日本の占領政策などをのせるのは賛成です。
- ・学び舎についてはP242～P243, P238～P239 についてはアジア太平洋戦争については独特な記述でおもしろくてつかうのは賛成です。

—行政区：南区 年齢：64歳

10

- ・帝国書院の社会科中学の歴史
漢字にはかなもあり、比かくが説明されている。字も大きく分かりやすいように思うので、この本を希望します。
- ・育鵬社
全般に字が小さく、かなもところどころのみではよっと思います。
具体的な項として、政党と政治ですが、憲法にうたわれていけば、もっと党名があると思うが、のっていないので、意義ありです。賛成しません。

—行政区：南区 年齢：75歳

<醍醐中央図書館>全16件

1

- ・自由社と育鵬社の公民と歴史を読みました。とても飛躍しすぎている現代史や、愛国心などとてもこわいと思いました。物事には一面性ではなく多くの角度から書くのがふつうであると思います。
- ・他の出版社—東京書籍や教育出版の同じ項目はすっと入りました。
- ・つめこまれるばかりの学校だからこわいと思います。上の2社は絶対に採用しないで下さい。

—行政区：伏見区 年齢：61歳

2

- ・現行教科書を初めて見ました。カラーで大変読み易くなっているのに驚きました。短時間でしたので、自由社の歴史を見ました。太平洋戦争始まりとなる真珠湾攻撃については、私らの世代はやはり日本が「だましようち」したと学習したと思います。歴史をわい曲して無理に日本は正攻法だったと述べるのはまちがっています。正しくあらわした教科書を発行して下さい。自由社「新しい歴史教科書」

—行政区：伏見区 年齢：73歳

3

- ・社会の歴史・公民の教科書で、かなり偏った見方の記述が見られるものがありました。近代なのにおよそ認識がずれていると思われます。(意図的)。我子達がそのような教科書を元に学習をしたとすると、将来、国際社会で、見識を疑われ、孤立しかねません。そして日本の将来が危なくなるのではと不安です。良識ある選択を切望します。

—行政区：伏見区 年齢：未記入

4

- ・自由社、新しい社会 絶対に採択されてはなりません。大東亜共栄などを強調し、侵略戦争の影をうすめ、日本の戦争犯罪を軽くあつかっている。P255 など、あきれるばかりか、近隣諸国民が眼にすればどう思うでしょうか。昭和天皇についても、わざわざ2頁も費やし、その責を免じ、人柄をたたえるのみとなっている。
- ・育鵬社 全体に政府見解や第2次大戦での日本の責任をうすめようとしてエネルギー問題も政府見解のみの丸うつし。立憲君主制—天皇 P51 憲法の理念、人権の尊重より制限や国民の義務に多くをさいている。P181 君が代の意味は、故意に取り違え、解説としては非科学的。採択してはなりません。“押し付け憲法”としているが、そうではない側面もあった。公民ではなく“皇民”教育をめざしている。靖国派の主張で貫かれています。育鵬社は公民・歴史とも。

—行政区：伏見区 年齢：70歳

5

- 私たちの使っていた教科書と比べると、紙質も良く、色々なカラー刷りの資料も豊富で、時代の流れを痛感しました。教科書と資料集とが別々で、あっちを開いたり、こっちを開いたり。狭い机の上で苦勞していたのは全くウソの様に、必要な項目の所に必要な資料が提示され、改めて手元に置いて使ってみたいと思いました。けれど、日本国憲法の基本である、平和主義、基本的人権の尊重、立憲主義などを軽視する自由社や育鵬社の教科書は採用しないで下さい。戦後70年、平和にやってこれたのは、「戦争放棄」をしてきたからです。これからの子どもたちに引き続きこの平和が続く世の中で成長して欲しいと思います。過去の事をごまかしではなく、真実を教えてください。

—行政区：伏見区 年齢：60代

6

- 育鵬社の歴史教科書を採択しないでください。理由は以下
 1. 日本の過失の侵略戦争を当然視する記述に満ち、生徒にまちがった歴史の見方を与えてしまいます。P192で、日露戦争を日本の自衛戦争のように描き、中国や朝鮮に加害を行ったこと、領土拡張の侵略戦争であったことを一顧だにしていません。P234の太平洋戦争を大東亜戦争と記述して、「自存自衛の戦争」とした当時の軍国主義政府の主張をそのまま踏襲して、読んだ生徒にあたかも正しい戦争であったかのように、誤解させるものです。
 2. 東郷平八郎を「軍神」とした戦前の国定教科書を思わせるような戦争賛美の記述が目立ちます。
 3. 沖縄戦での集団自決への軍の関与をおおいかくして、スパイ容疑での軍の住民虐殺にもふれていません。

—行政区：伏見区 年齢：62歳

7

- 次の理由で、育鵬社・自由社の社会科（公民）教科書を採択しないよう、よろしく願い致します。
 1. 今は、何よりも憲法の内容と、その精神を、正確に教えなくてはならない時期（政治情勢）だと思うが、2社にはそれがない。
 2. 基本的人権の尊重（育P.54）では、基本的人権の内容はわずかしかなかず、権利の制限とか、国民の義務の方を強調している。（3/4ぐらい？）
 3. 平和主義の説明（P56）でも、平和や9条の意味より、自衛隊の説明（これも3/4ぐらい？）が重要なものという評価に終始している。
 4. “憲法改正”（P60）の解説に2ページもつかって、重要性を強調している。
 5. まず、侵略戦争へ導いた帝国憲法を高く評価し、戦争への反省、そして戦後70年の「非戦」へと導いた、現憲法の内容を大きくゆがめ、その精神を否定している。二社は、現政権の主張（「戦争法案」賛成）をそのまま教科書にかいているような真のいみでカタヨッタ内容だと思う。

—行政区：山科区 年齢：72歳

8

- 次の理由で、育鵬社・自由社の社会科（歴史）教科書を採択しないようお願い致します。
 1. 日露戦争について、このままでいくと「わが国は存立の危機をむかえる（育P191）とか、“国家の命運をかけた”戦争（自P194）と危機をあおり、「自衛戦争」と主張して、アジア・アフリカに独立への希望を与えた。とこの戦争を正当化している。
 2. 日露後の韓国を併合した件も、韓国の「近代化」をすすめたとし、その植民地支配のひどさを、あいまいにして美化している。
 3. アジア太平洋戦争についても、「アジア解放のための大東亜戦争」ととらえ、（これはだいたい国際的にみて通用しない立場）侵略戦争を美化、正当化している。

以上、育鵬社や自由社は、“ゆがんだ歴史観”のもとにかかれ、真のいみで正しい歴史を教えることのできない教科書だと思う。観光都市・京都として、このような教科書を採択するのは恥かしいことと思う。

—行政区：山科区 年齢：72歳

9

- 中学校育鵬社、歴史 P255 日本国憲法の制定について 一方的におしつけられた憲法だという事ですが、それは一方的な主張だ。色々真剣に議論がなされている事にもふれるべき。又、かりに成立の課程が問題だとしても、今の憲法は立派なすばらしい内容を持っている。それもふれられていないのはどうかと思う。

- ・P236 大東亜会議について 記述にかたよがりがあり、日本の侵略を正当化しているのは問題だと思う。公民 P54, 55 基本的人権の説明が通り一辺で権利の制限や国民の義務については強調されすぎアンバランスに問題を感じる。育鵬社の歴史、公民は採択しないでほしい（国民学校を体験した者より）。

—行政区：伏見区 年齢：80 歳

10

- ・主に歴史教科書を見せてもらいましたが、「日本が朝鮮を植民地にした」と書いてあるものもあったが、日本は朝鮮を植民地化はしていないはず。統治していたはず。子供たちにまちがった歴史を教えるといけないと思います。福沢諭吉がハングルを広めたと書いてあるのは自由社だけです。正しい事実を子供たちに教えてください。

—行政区：伏見区 年齢：52 歳

11

- ・育鵬社の歴史の教科書は、特に気になる記述があります。社会科の教科書は、国が自分の言い分を正解として教えこむ道具ではありません。特に日本国憲法の制定の頁では、当時の国会で真剣な議論が行われたことには一切ふれず、憲法が連合軍から一方的に押し付けられたと決めつけて書かれています。公民の教科書では、基本的人権の保障の頁も、基本的人権の内容の説明はわずかで、権利の制限や国民の義務について延々と強調しているのが気になります。

—行政区：未記入 年齢：未記入

12

- ・育鵬社の公民教科書を採択しないで下さい。憲法 9 条の記述に違和感があります。自衛隊が違憲か否かをはっきりと判断が出ていない状況で「自衛隊は日本の防衛には不可欠」とあり不適切。自由社の公民教科書を採択しないで。学校の生徒の国籍が多彩な今日、日本人としてのなどとの愛国心を植えつけることは日本国籍以外の人達の人権をふみにじるもの。育鵬社の歴史教科書を採択しないで下さい。昭和天皇の戦争責任をごまかす様な記述は不適切。自由社のアジアに対しての表現が不適切なので採択しないでほしい。第 2 次大戦時アジアに対しての侵略がまるで独立を助けたという記述が不適切。学び舎の歴史教を採択してほしい。

—行政区：山科区 年齢：45 歳

13

- ・育鵬社の歴史教科書では、昭和天皇に関する内容が多く書かれています。天皇の戦争責任については、今までもあいまいなまま、教えられずにきましたが、事実として戦争をはじめた。そしておわらせたことの責任がかかれず、美化されたものだけになるのが不思議です。又、東京裁判についても、評価が定まっていなくて書かれています。国際的に認められたものではないのですか。自由社の公民では、愛国心ばかり強調されています。それは、人それぞれの中で自然とめばえるもので、教科書において、押しつけられるものではありません。なでしこジャパンやオリンピックの写真がのせられていることにも何か違和感があります。誰もが国を愛する心をもっていると思いますが、教育として、それをしつこく、おしつけあらすことには反対で、この教科書を子どもたちに見せたくないです。

—行政区：未記入 年齢：未記入

14

- ・すべて指導科の指示によって「展示報告紙」もなされていると聞きましたが、「小さくて見えにくい」。入口に「教科書展示しています」の表示もなし、国民の意見を聞く姿勢ありますか？

- ・歴史を正しく伝えていないのは自由社、育鵬社。

1. 大東亜戦争と表記。日本の戦争責任正しく伝えていない。逆に戦争は正しかったと賛美している。昭和天皇の（半ページ）美談も本当のことを伝えていないし、国民主権になった事を忘れてる。
2. 南京事件について「中国」の軍民に多数の死傷者が出た」と他人事のような記述。「殺害」の歴史をゆがめている。沖縄戦について、「集団自決に追い込まれた人もいました」日本軍によってがない。歴史ゆがめている。昭和天皇（1 ページ）天皇賛歌。戦争中「天皇のために」と死んでいった多くの日本人、朝鮮人。こんな教科書で学んだ子供達は、日本が戦争侵略してアジアの人々を殺したことも知らず、喜んで戦争に参加して同じ過ちを繰り返すでしょう。よくこんな教科書、検閲通りましたね。恥かしい世界に対して恥かしい。1 番よかったのは、清水書院と東京書籍、教育出版。
3. 治安維持法、関東大震災で朝鮮人虐殺、南京事件では無差別虐殺と正しく歴史を伝えている「日本人が知るべきこと」です。憲法 9 条の記述と、沖縄戦の集団自決が詳しい。

4. 南京大虐殺と記述。公害で闘った田中正造の半ページ日本国憲法の作られた状況が詳しく記述。安保問題、基地問題（沖縄）も正しく伝えられている。
5. 安保闘争詳しく書いてあり、米軍基地の地図もあり上記3社は読んで楽しかったです。お母さんも一緒に学べるのではと思います。

日本国民がこの意見書（パブコメ）についてほとんど知らないのでは問題です。図書館では奥の部屋で展示していて、だれにも分からない。国民には知る義務があります。しっかり知らせる努力が足りないのではないですか。

—行政区：伏見区 62歳

15

- ・自由社 「自衛権と平和主義」の表記。自衛権を重視して、自衛隊が2ページも説明されているのは、隊員募集のパンフレットです。ミサイル戦車の写真に魅かれる若者が多い事をねらっているのでしょうか。愛国心を記述するなら、ヘイトスピーチのニュースもとり上げるべき。愛国心を育てすぎると、蔑視につながるのです。「日本国憲法がひそかに作られ」は誤り。「憲法改正問題」で9条を改正すべきに重点、政府寄りの記述は公正でない。「国歌国旗」2ページにわたる記述は、戦時中にどのように使われたか伝えていない。「国益を強調」そのために戦争が起こった反省なし。歴史正しく伝えていない。
- ・育鵬社 領土問題4ページ。これを読めば中国韓国は悪いやつ、やっつけろ！となるだろう。一面的な歴史です。「法の入り口」子供向けの絵で、まず、国が守るべき憲法が初めにあるべきなのに、国民が守る法のページが多いのはおかしい。「憲法とは」の正しい記述なし。「9条と自衛隊」政府の考え方を記述。公平でない傾いている。「政治の入り口」中学生から政党を選ばせるのはおかしい。まず、その人間の考え方を見るのが正しい。「政党と政治」ポスター自民、公明、維新の顔写真入りと民主は顔なし。そして、議論の写真は、安倍首相と石原氏、これも傾りすぎていてびっくりしました。「領土をとりもどす」の記述は好戦的です。4ページにわたって領土問題戦争にならないように、いかに外交努力で他国と良い関係を築くかの記述なし。
- ・3日間通いましたが、1日に5名ほどが来ると聞きましたが、午前中3日間はゼロ。市民新聞でも広報すべきでは。こんな大事なことを市民、国民に知らせる義務が（もっと大きく）あると思います。

—行政区：伏見区 年齢：62歳

16

- ・教科書が分厚いのに驚き、毎日の通学で持ち運びは大変だなとまず感じました。「公民」を見比べました。
- ・◎清水書院「学習のはじめに」で公民とは？分かり易く説明し、学習への動機づけがとてもよい。全体の編集が見やすく読みやすく、内容が知性的によく整理されていて中学生が自学自習する場合にもわかりやすい。義務教育で身につけるべき「公民」の教養として最もふさわしいと思いました。
- ・×自由社は、明治憲法（大日本帝国憲法）や天皇を特に重視する偏った傾向が大きく、日本国憲法成立の過程からその価値に至るまで否定的な価値観が伝わってきます。教科書学習で使用する教科書には全くふさわしくない恣意的な編集方針だと思いました。同じような意味、理由で、×育鵬社もふさわしくありません。
- ・それにしても選挙権、投票年齢が18歳になるということになり、また労働法政も変化する昨今、教科書はまだ修正されるのでしょうか？

—行政区：山科区 年齢：64歳

<北図書館>全25件

1

- ・育鵬社 新しい日本の歴史 その昔の中学校の教科と大きく違う点、総てが見安く大きさ、カラフル印刷が美しく日本の歴史が太古から近代、現代まで引き付けられた。今の中学生は大変幸せだ！購入に先ず一件にしかず予習して居れば学校で授業の折、先生から本以外の自己体験談を静かに拝聴して頂きたい。歴史は日本人の根源「古きを訪ねて新しきを知る！」教育の教育たる由縁
- ・新編 新しいみんなの公民は昔は無かった。一般常識として勉強するも毎日の新聞を読むことも兼せてして頂きたい。

—行政区：北区 年齢：75歳

2

- ・現在話題になっている、日本国憲法制定についての記述だけを見て、東京書籍、育鵬社、自由社を比較し

てみた。東京書籍は、他の部分と比べても適度な量で書かれており、史実にそったものと考えられるが、育鵬社・自由社共に、GHQに押しつけられた憲法であると言わんばかりの表現に行をさいていた。東京書籍では触れられている「民間団体の案も参考にしながら」という部分は育鵬社、自由社ともになく、自由社では「約一週間でみずから作成した」草案を強く迫ったと書かれている。他の部分の写真や表現についても、ある方向に導こうとする感じを受けることが多く、中学社会科教科書としては、育鵬社、自由社共に望ましくない。

—行政区：北区 年齢：未記入

3

- ・国語と社会の教科書をみました。国語の教科書は、はば広い内容が入っていて、良いと思いました。一方、社会教科書は、出版社により考え方を一方的に押しつけているものがあり、問題だと感じました。自由社・育ほう社の教科書は、第2次世界大戦やその前後の考えに、偏りがあります。特定の政治家の評価や第2次世界大戦を、アジアにとって良かったかのように書いてありますが、2000万人もの中国の人を殺してきたことについての反省がありません。事実をあいまいに書いている点（盧溝橋事件）にも、賛成できません。これから世界ではばたく人を育てるにはふさわしくない教科書だと思いました。

—行政区：上京区 年齢：未記入

4

- ・「自由社の公民」について 日本の伝統、独自性、家族、天皇制などについての記述を読んでいると、現在の世界の中の日本や、家族のあり方の変化などにこたえられる内容になっていないと感じられる。これからの社会をつくっていく子供達に広く豊かに考えられる内容になっていない。
- ・「自由社の歴史」について どの時代を通じてもなぜ戦い起こったのかがわかりにくい。特に第二次世界大戦のあたりは、アジアの近隣諸国の人々がこれを読んで納得できる内容になっていない。この教科書で育った若者はのびきならないひとりよがりになり、世界、特にアジアの人達には受け入れられない人間になるように感じました。
- ・「学び舎の歴史」について 日本の支配の中核にいた人の視線だけでなく、社会を構成する様々な立場の人々からの歴史、世界の中の日本がよくわかり、読み物としても楽しく、興味をもてる編集がされていて、教科書としてすばらしいものだと思います。

—行政区：上京区 年齢：64歳

5

- ・歴史的分野
P192～193 韓国併合について、育鵬社の教科書は日本の韓国に対する植民地化を正当化する記述をしている。P236～〔日本軍の進出と、アジア諸国〕日本の東南アジアへの占領が欧米諸国からの支配から、解放したような記述がみられる（育鵬社）。〔日本国憲法の制定〕GHQによって、押しつけられたような記述の仕方で、事実と反する（育鵬社）
- ・公民的分野
日本政府を代弁するような記述が多い（育鵬社）
- ・歴史的分野
沖縄戦での記述 育鵬社 集団自決での軍の関与が記載されていない。自由社の教科書も、育鵬社の教科書とよく似た内容である。育鵬社、自由社の教科書では正しく歴史認識で誤りを犯すことになる。未来ある生徒に、これらの教科書はふさわしくないと考える。学び舎のともに学ぶ人間の歴史は、全体として、わかりやすく生徒には学びやすい教科書である。資料も豊かである。

—行政区：上京区 年齢：63歳

6

- ・社会科中学生の歴史 帝国書院 近代（後半）ざっと目を通しました。ビジュアルで活字も大きくグラフ、写真、イラストも豊富でとてもよく工夫されています。当方歴30年代前半、教科書は味もそっけない代物でした。今の子供さんは幸福です。追記 設問、出題も教科書をよく読むことで考えて解答する仕組みになっていて感心しました。

—行政区：北区 年齢：71歳

7

- ・自由社版「新しい歴史教科書」について沖縄戦の記述で「住民もよく協力した」とだけ書いているが、悲惨な日本軍指導の集団自決が書いていない。反省すべき点なので、沖縄戦の本文又はもっと知りたいの戦

争犯罪にぜひ加えたい。

- ・琉球処分とは何かで「一種の奴隷解放」として良いことのように説明しているが、本当は戦いこそなかったものの、いやいや従ったのだ。処分というのは罰であることからわかる。少なくとも熊本の本隊が来たとか、琉球王が東京でとらわれの身となったこと、沖縄の方言を禁止したこと等を書くべきではないか。

—行政区：未記入 年齢：未記入

8

- ・歴史・公民で自虐的な表現は以前に比べて少なくなってきたと思われるが、例えば「元の襲来」「秀吉の侵略」という自虐的使い分けがまだなくなっていない。
- ・歴史・公民にでは自由社、育鵬社のものが、市場シェアの大きい出版社のものよりもはるかにバランスがとれていると感じた。

—行政区：北区 年齢：79歳

9

- ・基本的人権の項について

育鵬社—大日本帝国憲法の説明長すぎる。くどい。しかも基本的人権は保障されていると。天皇主権の中で法の範囲でなど非常にあいまい。子どもたちに理解しにくい。

東京書籍—非常に明解。世界の歴史の歩みからたどり、わかりやすい。

歴史を正確にふまえた記述を重視した教科書の採用をお願いしたい。

—行政区：北区 年齢：80歳

10

- ・中学・理科について

2011年の原発事故の関連で、放射線と健康、食材、水への影響について、もう少し突っ込んだ記述があると思ったが、わずかに数行でしか扱っていないのでは、防護という点でも子どもたちの必要知識として余りにもお粗末である。

- ・公民

自由社…P165の「集団的自衛権」の記述は、現在、国民的議論になっているにもかかわらず、政府見解のみ断定的に記述しており、不適切である。

育鵬社…P59の沖縄と基地の記述、及び比較の数字が意図的であり、削除すべし。

P181の「君が代の意味」は政府でも、国会でも確定したものはないはずだが、根拠なしの記述は誤りである。

- ・歴史

自由社…P254／東京裁判の記述で、日本人への戦争観をGHQがねじまげて、せん入観をもたせたかのような内容になっているが、これはしい的な見方記述したのではないか。教科書としては不適切な部分ではないか。

学び舎…P260-261 日本国憲法の制定過程については、すべての教科書の中でもっとも詳細に記述しており、最も子どもに（大人にも）読んで欲しい教科書と言える。

- ・当時の文部省発行の「新しい憲法のはなし」は資料としてははずすことはできないものです。日本側の制定に向けた動きとして、「憲法研究会」「自由民権運動のなかでの案」「国会での重要な修正」とりわけ、義務教育を原案の「小学生まで」を「中学生まで」に延長した点にふれていることは重要である。また、沖縄あまみ、小笠原での実施直後のコラムなど、現在の問題を考える上で大切な資料を載せている。

- ・P276-277

オキナワ、カデナ周辺の1921年、2005年の比較地図は教室で子どもたちが考える上ですばらしい客観的資料である。

- ・公民では、自由社、育ほう社の採択を避けていただきたい。

- ・歴史では、育ほう社の採択を避け、資料豊かな学び舎のものを期待したい。

—行政区：北区 63歳

11

歴史教科書の東京書籍と育鵬社を見ました。

- ・神話について：育鵬社は神話をまるで歴史的事実であるかのように書かれていて（P50.51）問題である。東京書籍は神話というものを客観的に書いてある。

- ・太平洋戦争：育鵬社は大東亜戦争という名を（ ）内で使っている。また、「自存自衛の戦争」だとか、欧

米の植民地支配からアジアの国々を解放する名目であるとか、戦争のとらえ方がおかしい (P234, 236)

- ・日本国憲法：育鵬社は、日本国憲法がGHQの押しつけのように書いてある。また憲法の3原則を本文の中に書かず、占領が終わると、憲法改正や再軍備の声があがったことを強調して書いている。憲法の中味について不十分だと思う。東京書籍では、三原則など中味について書いてあり、大日本帝国憲法との比較の表もあってわかりやすい。以上の点から見て、育鵬社の教科書は問題が多いので、採用しないようにお願いします。

一行政区：北区 年齢：61歳

12

- ・自由社 公民 P165 には、日米安保条約の記述に、2014年に集団的自衛権の行使容認が閣議決定されたことがあり、わが国と密接な関係にある他国への武力攻撃を自衛隊が阻止できるように〜。とあるが、現在、国会で議論中のことでもあり、多くの憲法学者が集団的自衛権行使について、憲法違反だと論じていることを、教科書に書くのは問題。日本国憲法制定について、育鵬社と自由社の記述はGHQの押しつけのように書いているが、事実は、日本の改正案は、大日本帝国憲法を手直したものであり、徹底した民主化を目指すGHQの草案が作られた。東京書籍が良いと思う。育鵬社や自由社の歴史公民で子どもたちに教えてほしくないです。留学した時や海外で歴史認識を問われ、恥をかくことになると思います。

一行政区：北区 年齢：未記入

13

- ・育鵬社「新しいみんなの公民」88ページ「政党と政治」では安倍首相とその仲間と言える写真はかりではないかと思う。58ページの平和主義と防衛についても世論とかけはなれた政府の主張を記述している。54ページ「基本的人権の尊重」では小見出しが「公共の福祉による制限」となっているが、基本的人権は第13条で「公共の福祉に反しない限り、最大の尊重を必要とする」として、制限をいましめるものである。全体として、良くない教科書で不採択とするのがよいと思う。

一行政区：上京区 年齢：64歳

14

- ・日本国憲法の制定について
育鵬社「新しい日本の歴史」P255 GHQにおしつけられた憲法である
自由社「新しい歴史教科書」P253 上社よりさらに強い調子で、GHQの押しつけであったことを記している。
東京書籍「新しい社会・歴史」P244-255 徹底した民主化をめざすGHQと日本の民間団体の案も参考にしながら日本政府自ら草案をまとめた。国民主権や基本的人権、平和主義の基本原則と教育基本法や民法のこと、男女平等など記されている。
- ・育鵬社や自由社の内容で、子供たちに教育してほしくないの、とりあつかいをやめて下さい。

一行政区：北区 年齢：67歳

15

- ・ニューホライズンは“なでしこジャパン”など、最近の子供が1番興味をもっている話を載せているので、とても良いと思いました。また、全ての写真が非常にきれいで学習意欲がわきそうです。
- ・ワンワールドは、サイズが小さいのはどうしてでしょうか。他のと見比べてしまうとごちゃごちゃして見えてしまいます。それと、取り外しができる冊子がついているのは良さそうですが、中学生ぐらいだとなくしてしまったり、後々困りそうな気がします。
- ・昔、光村の教科書を使っていましたが、当時とあまりかわらず、ポイントがよく分からないと思いました。東京書籍や三省堂の教科書の方が工夫があってみやすかったです。

一行政区：左京区 年齢：30歳

16

- ・育鵬社の歴史教科書は、あまり知られていないことが書かれていて面白いが、マニアックすぎて、義務教育の中学生には必要ないものが多いと思います。田中久重、加賀千代、阿部正弘、中條景昭、八田興一、樋口季一郎等々、ほとんどの日本人が知らないような人物を、教科書に取り上げる必要があるのか。中学生にとっては、よい迷惑だと思う。

一行政区：西京区 年齢：52歳

17

- ・英語の教科書に興味があり、見ていて気になったことがあったので記します。「ONE WORLD」という教科書

(たしか、以前、子どもが使っていたと思います)には、スマートフォンを使っている中学生がいっぱいできてきたり、TVゲームで遊んでいる姿がたくさん書かれています。こういった姿は、教科書にはあまりのせてほしくないです。

—行政区：北区 年齢：未記入

18

歴史教科書について

- ・日本の旧石器、縄文、弥生について、見やすい写真、絵がどの教科書にもあってよい。日本に人が住み始めた年が書いていない教科書がある。書いてほしい。
- ・帰化人という言葉を使っている教科書があるが、いかななものか、渡来人でよいのではないか。
- ・聖徳太子を、はっきり摂政としている教科書があるが、その時代にそういう言葉はないのでは。
- ・大和政権と漢字表記のものがあるが、ヤマトとする方が最新の研究成果ではないか。大和というのも律令体制確立期の言葉だと思う。
- ・中国の冊封体制を説明する教科書があるが、中学生には難しい説明になっている。

—行政区：左京区 年齢：61歳

19

- ・学び舎の教科書は、他の教科書のように歴史ではない神話が出てこないのも良いと思う。子ども達にとって神話を歴史教科書にもり込まれると混乱を生じるし、戦前の教育(軍国主義教育)を思いおこさせる。
- ・学び舎の教科書は、第二次世界大戦への突入の理由等、第二次世界大戦への正しいとらえ方がされている。又、人類のはじまりについても、子ども達の興味をそそぐものとなっている。
- ・育鵬社の教科書は特に神話を歴史教科書にもり込まれている点、日本人の宗教観についての記述があり、神教の自由を考えるとおかしいし、歴史が羅列的で時系列がわかりにくい。第二次世界大戦を「自存自衛」の戦争とし、大東亜戦争と記述するなど子どもたちの歴史観をそこなうため、このような教科書は採択されないことを望む。

—行政区：北区 年齢：66歳

20

- ・多くの教科書があり、全部をみることはできませんでした。社会科を中心にみました。地理は、帝国書院のものが地形、気候、文化が一体で表されており、わかりやすいと思いました。歴史は、近代以降がほんの少ししかない教科書もありますが、近現代をしっかりと教えてほしいと思います。教育出版、東京書籍などがわかりやすいように思います。学び舎の教科書は人々の目線から書かれており、身近に感じられるかもと思います。
- ・公民は、東京書籍、文教出版、教育出版などがよいのではと思います。自由社の公民は、明治憲法がすごく良いものであるように書かれており、おどろきました。また社会保障のところで、社会保険は国民に加入が義務づけられているとした上で、労災保険があげられていますが、労災保険は雇用主に義務づけられており、誤解があると思います。また、のつけから家族をことさら強調し、家族の中で生活できない子どもも多くいることに配慮がないものであり、この教科書は使ってほしくありません。育鵬社のものも明治憲法や天皇制を良いもののように書いており、ふさわしくないとしました。

—行政区：北区 年齢：未記入

21

- ・自由社の歴史教科書 戦争に対する記述(P196のコラム 日本国家の命運をかけた日露戦争云々)が一面的で与謝野晶子「君死にたまふことなかれ」はないのはどうか。大日本帝国憲法…賞賛した内外の声など、礼賛しているが、現憲法と比較して学ぶべきものではないか。この中に教育勅語が「近代時の生き方に大きな影響を与えた」と説明(記述)されている。また、海外でも多くの言語に翻訳されたと記述があるが、今からみての批判のある見解があることも記述すべき。太平洋戦争を大東亜戦争と記述し、アジア解放をかかげた云々としているが、この戦争が侵略戦争であったことは世界の常識である。P246のコラムは、この基本認識から逸脱するものである。戦争の加害者責任にふれられていないことも問題。沖縄戦(P244)「日本軍はよく戦い、沖縄の住民もよく協力した」との記述。不十分きわまりない。玉砕の実態を少しでも書くべき。こうした教科書は、子どもたちが学ぶのにふさわしくないと感じる。

—行政区：上京区 年齢：未記入

22

- ・育鵬社、自由社の歴史教科書について、全体として、その時代に生きた人々の様子が見えない、中でも特

に、明治以降、太平洋戦争までの記述が、為政者（当時の）の立場中心のとらえ方で書かれている。人物が片寄っていると感ずます。人々の暮らし、人々のおかれた時代状況を想像できるような記述になっていない印象が強いです。

- ・尖閣や竹島など、領土問題は、相手国と立場を尊重し合う中で、解決がはかられなければならないが、どの教科書も「政府見解」どおりの記述で、本当にいいのでしょうか？対立を強調する風潮に導かれかねないと感じます。

—行政区：北区 年齢：61歳

23

- ・子ども達にとって、教育はとっても大事な事です。歴史の事実をしっかりと伝え、二度と戦争はダメということ子ども達に教えることは、憲法にも明記されています。この教科書の採用は子ども達の未来（のため）しあわせに生きていく権利が非常にあやぶまれます。絶対に育鵬社の教科書は採用しないで下さい。お願いします。

—行政区：未記入 年齢：未記入

24

- ・これからは海外に仕事で出ていく人が増えるので、英語教育は重要であると思う。NEW HORIZON の「東日本大震災のバイオリン」は子どもたちに知ってほしいと思う。また、「なでしこジャパン」は中学生にも興味があるのではないだろうか。登場するキャラクターも私たちの頃とは違い、現代風で今の感性に合っている。

—行政区：下京区 年齢：未記入

25

- ・今では小学校から導入されている英語教育。仕事でも、海外の人と関わることが多くなってきていたり、海外の日本への意識も高く、旅行なども含め日常で英語がとびかっているのに、日本人の英語力が低いのではしゃれにならない。今回、英語の教科書を見させていただきました。数多く見比べた時、ふと気になったのが、教育出版の ONE WORLD。なぜこの会社だけ教科書の大きさが小さいのか？他よりもごちゃごちゃとした印象を受けた。東京書籍の NEW HORIZON は、教科書も開きやすく、紙面がはっきりと見やすく感じた。中学生が楽しんで英語を勉強できそう。

—行政区：下京区 年齢：未記入

<洛西図書館>全 21 件

1

- ・育鵬社公民に基本的人権についての説明は少なく、権利の制限や国民の義務について延々とアピールしているのはおかしい。育鵬社歴史：戦争を美化するような内容は許せません。将来、大学受験時に今回のような間違った認識を子ども達が持ってしまうと混乱します。正しい認識のできる教科書を選んでください。良識のある選択をお願いします。

—行政区：西京区 年齢：43歳

2

- ・公民

1. 日本国憲法の学習で大日本帝国憲法を高く評価し、日本国憲法はおしつけられたと書いている。育鵬社・自由社は異常です。
2. 国民主権の所で天皇を大切にすることを強調している育鵬社・自由社は国民主権をないがしろにするものです。採用しないで下さい。
3. 基本的人権の所で「公共の福祉」として義務ばかり強調するのは正しくありません。
4. 平和主義の所で、憲法 9 条の大切さにふれずに国防の義務や自衛隊のことをたくさんとり上げている。育鵬社・自由社は採用しないで下さい。
5. 「国歌」をすごく強調しているのが異様です。（育鵬社 P176-181・自由社 P144-149）

- ・歴史

1. 古代、世界の 4 大文明をきちんと書いている教科書がいいです。育鵬社・自由社はよくわからない。
2. 神話と史実をつなげるような教科書は、子どもたちに手渡したくないです。
3. 大正デモクラシー。米騒動を暴動（育鵬社 P216）、騒乱（自由社 P218）と表現しているのは異様です。
4. 日露戦争を自由社（国家の命運をかけた）とか育鵬社「わが国は存立の危機」と表記しているのは異常

です。

5. 太平洋戦争を「大東亜戦争」と言うのは日本の侵略戦争を否定するもので正しくありません。(育鵬社・自由社)
6. 安倍首相の写真が15枚もあるのは、どうみても異常です。育鵬社。
 - ・公民
7. 沖縄の基地問題
オール沖縄で「辺野古への基地をみとめない」になっている中で、育鵬社のP59の沖縄と基地の囲みはおかしいです。
8. 憲法改正のしぐみに2ページもさいてかいている育鵬社は異様です。

—行政区：大山崎町 年齢：63歳

3

ONE WORLD について

- ・中学生の教科書でスマホを出すのはどうかと思います。なるべく使わせたくないの。
- ・他の教科書より小ぶりで、ちょっとごちゃごちゃしていて見にくい気がします。
- ・イラストも3年までマンガっぽい。
- ・和食を題材にするのは良いが、中学生が料亭に行くのは非現実的なので、京都を取り上げるなら錦市場とかの方が良いと思う。
- ・イラストや色あいなど、少し子どもっぽすぎる気がする。

NEW HORIZON

- ・表紙を開けた時に目に入る写真の笑顔に心をうばわれた。
- ・なでしこ女子サッカーを取り上げるのはタイムリーでとても良い。特に宮間にスポットをあてるところがニクイ。
- ・全体がすっきりしていて、色彩のトーンも良い。見やすい。キャラクターも可愛い。
- ・ノーベル平和賞受賞者などをのせて（アウンサン・スーチーさんなど）中学生に平和について考える機会としてはとても良い。
- ・今回は2社しか見る時間がなかったが、また見てみたい。

—行政区：未記入 年齢：未記入

4

- ・歴史教科書について 生徒達が、これからの日本の主権者として正しい歴史認識を持ち、特に近隣諸国と武力でなく、外交で平和的なつながりを持っていけるような考えの教科書を選んでほしい。誤っても戦争する道へは絶対に進ませないようにしてほしい。育鵬社の教科書は、その点で選んではいけません。選ばないこと。生徒達が過去の戦争のことを（日本の侵略戦争だったこと、慰安婦問題のこと）しっかりと学習して、戦争しない国づくりをしていくように、憲法9条を守っていくように、そんな視点で教科書を選んでいくべきだと思う。

—行政区：西京区 年齢：63歳

5

育鵬社公民について

現在社会的に評価の分かれる事柄についての一方的見解が目立つように思われる。例えば、「大日本帝国憲法の性格」、「自衛隊の評価」、「安保条約の評価」、そして「資本主義経済の意味」等についてである。生徒達に必要な「力」は特定の考え方を無批判に信じ、行動させることではなく、様々な考え方を批判的に考え、行動できるようにすることである。また、教科書はあくまで学習の資料であって「経典」であってはならないと考える。

—行政区：西京区 年齢：61歳

6

- ・自由社の公民教科書では、「家族」がまずあって個人があるというふうに読めるのですが、家族観についてかなり片よった見方が多いと感じます。清水書院などでは、まず一人一人の個人としてもつ権利や自由がどのような状況の下に生まれても保障されているということをしていねいに教え、家族のあり方が多様化した今日でも、社会の一員として大切にされていくことに変わりないと感じさせてくれます。今、一人親で育つ子や、いわゆる家族がなくなっている子どもも少なくない中、一部の人の理想とする家族像を「教科書」で押しつけられる子どもたちは困惑するのではないのでしょうか。他にも第二次大戦が天皇主権の下で

(大日本帝国憲法の下で) 大きな悲劇をもたらしたことにはふれず、日本国憲法をただ押しつけられたものであるかのように教えるのは賛成できません。自由社の公民教科書を選ばないで下さい。

—行政区：西京区 年齢：59歳

7

- ・中学校の英語について {NEW HORIZON} の3年生にアウンサン・スーチーさんの話が載っているが、中学生に平和を教えるには、よい題材である。今、日本中で議論されている安全保障の問題について、中学生に考えさせるきっかけになるのでは。「NEW CROWN」は、政治的な考えさせる文章がたくさんあり、面白いが、中学生には難しいかもしれない。文字が多すぎると、アレルギーを起こすかもしれない。「ONE WORLD」のノート(?) 問題集(?) は全く必要ない。中学生のうちは、ノートにしっかり書かせるべきで、自分のノートを作っていることを習慣とさせるべきである。でき合いのものを与えるのは、子どもにとってかえってマイナスとなると考える。

—行政区：西京区 年齢：49歳

8

- ・「国の成りたち」で、神話が現在まで続いているかのような非科学的な内容は、教科書にふさわしくありません(育鵬社・自由社)。
- ・沖縄戦での、日本軍による「集団自決」や「県民の殺害」について、学び舎の教科書はわかり易いです。子ども達に伝えるには良い教科書だと思います。
- ・憲法の基本原理に「平和主義」がありますが、育鵬社の教科書からは、平和主義の理念内容が読みとれません。国際情勢の危機と自衛隊の記述が多すぎます。折しも国会では「憲法」と「安全保障」について議論されている中、子供達にも「平和とは」を判断できるような内容でなければいけないと思います。清水書院の教科書では憲法前文が紹介され、このような教科書を進めたいと思います。

—行政区：西京区 年齢：68歳

9

- ・育鵬社と自由社の公民教科書には、平和主義などの説明に、先の第二次大戦時に日本が行った行為や、国民やアジアにもたらした悲惨な事実の記述がほとんどありません。また、東北大震災での原発事故がいかに大きな犠牲を生み、今だに解決できていないことへの記述もほとんどありません。子どもたちにしっかりと現実を教え、どういう問題があるのか考えさせるにはたいへん不十分です。また憲法改正について環境権などの規定がないから必要というふうに導いているような内容になっていますが、知る権利やプライバシー権、環境権などは今の憲法の中で十分に保障されるとの見解もあり、もっと客観的な記述にすべきです。育鵬社や自由社の公民教科書は使わないでください。

—行政区：西京区 年齢：59歳

10

歴史

- ・沖縄での集団自決が軍の強制であったことや従軍慰安婦のことなど、この間重視されてきたことの記述は残してほしい。
- ・天皇が平和的であったことをことさら強調しすぎのように思う。
- ・育鵬社の本では戦後の部分が少なすぎる。
- ・教科書を閲覧してきた名簿に意見書を提出したかどうかチェックされていたが、個人を特定するようなことはなくしていただきたい。

—行政区：西京区 年齢：未記入

11

- ・マンガの様にかかっている。まじめに話しができていない。

—行政区：西京区 年齢：68歳

12

- ・育鵬社、新しいみんなの公民
私たちの取り巻く課題の中で消費税が国民の社会保障や福祉に使われますとありますが、消費税の何%が、国民の為に使われているのでしょうか? 数字で示してほしい。憲法の制定も全て、GHQから指示されたように書かれているが事実ではない。
教科書は、子どもが初めて手に取り、学ぶ大事なものなので事実即し事を明記するべきである。

—行政区：西京区 年齢：69歳

13

・育鵬社、自由社の公民、歴史教科書については自国が中心の書き方が多く、他国や国内の外国人とこれから良い関係をつくっていく中学生、高校生には良いとすすめることができません。特にアジアの国を侵略した事実に向きあった内容にとぼしく、これでどうやって子どもらが国際人として成長できるのか、疑問に思います。

以上のことから、育鵬社、自由社については採択されませんよう強く希望します。

—行政区：西京区 年齢：38歳

14

・公民の教科書、数社見させていただきましたが、集団的自衛権にふれた記述は育鵬社のみ。その論拠を日本国憲法後半部分から引用されているが、その記述はその前の対策等、平等な国家関係を前提にしており、部分的引用は生徒の見方を誤らせる可能性があると思います。また人権学習（基本的人権）でも「公共の福祉」のために濫用を戒めていますが、育鵬社の記述は、人権の主張そのものが公共の福祉に反するような受けとめ方がされる恐れがある。

以上の点から、育鵬社の公民教科書は不採択されるようお願いしたい。

—行政区：西京区 年齢：68歳

15

・冊数が少なく、全部を見ることができません。もう少し一冊につき、複数量置いていただきたいです。歴史と公民につき、自由社のは過去の戦争の反省のもと、現在の憲法ができ、世界に認められてきたという観点が欠けているのではと思います。アジアの解放につながったということが賛美されすぎです。又、未来の子どもたちに国際社会に対する貢献という点でも、東京書籍、帝国書院らと比べ、憲法の平和主義にのっとり、貢献していくという大切なことが教えられていません。育鵬社のも同じです。このような教科書で教えられた子どもたちは将来、真の国際人として成長できないのではないのでしょうか。

—行政区：西京区 年齢：69歳

16

・育鵬社の「公民」教科書には、子どもたちひとりひとりがかけがえのない存在であるという人権意識よりも、国家の一員、家族の一員とおしての義務や役割ばかりが強調されすぎていると思います。日本国憲法の定める基本的人権よりも、一部の特殊な家族観や国家観を押しつけられているのではないのでしょうか。少子化の責任が個人の意識にもあるというのは、いったいどういう意味でしょうか。また男女平等についても、ことさら男らしさ女らしさといった固定観念を強調し、たいへん片寄った意見だと感じます。西洋における人権と日本における人権を全く別の成りたちのように書いているのも、科学的な見方とは思えません。その他、あまりにも時の政府の主張のままで、公平とは思えない表現が多すぎます。この教科書は使わないで下さい。

—行政区：西京区 年齢：59歳

17

・中学校公民と歴史を中心に読みました。他の出版社との対比が出来る程資料（冊数）が少なかった。育鵬社の公民がまるで自民党の公報誌のような内容でびっくり。首相が変わる度に内容かわるのか？安倍さんの写真や記事（ほめたたえた物）が満載。公平な視点で教科書を決めるべき。戦争の悲惨さや侵略した事実を隠さず、正直な正しい歴史認識をもたせてこそ平和の大切さがわかるのではないのでしょうか。

—行政区：西京区 年齢：63歳

18

・全般的にカラー印刷で見やすく工夫されている。話題にのぼる歴史教科書を中心にみました（今まであまり知らなかった）。自由社はイザベラバードもとりあげ、海外から見た日本というものに目を向けさせています。自己肯定感がもてる、教育を望みます。台湾における八田興一技師の偉業もとりあげてある教科書はとてもよいと思いました。

—行政区：西京区 年齢：50代

19

・公民、歴史の教科書について、育鵬社と自由社はよくありません。公民は教育出版と東京書籍がいいです。時の権力に都合がいい教科書ではなくて、子どもたちが主権者として育ち考える力がつくように、特に公民はいろんな立場の意見もあるということを書いてください。育鵬社、自由社は公民、歴史ともにダメです。

20

- ・中三の国語教科書には、漢詩、俳句、短歌等の伝統的な文芸が、どれも取り上げられていて良いと思います。
- ・自由社の社会「歴史」教科書の中に、「日本共産党」に対する偏見に満ちた記述があることに驚かされました。「各国の秩序を乱すために活動する」とは、全くの誤解だと思います。
- ・育鵬社の歴史教科書には「日本国憲法」の成立に至るまでの経緯が「日本の意見は全く聞き入れてもらえなかった」とありますが、実際は民間の研究者の意見がかなり入っているはずです。
- ・頭のやわらかい中学生にうそを教えなくて下さい。

21

- ・育鵬社 新しいみんなの 公民 P47 憲法とは何か
「(ア) 国民同士の権利侵害に対して、民法…(イ) 法律の解釈を通じて…立憲主義といいます。」となっているが、(ア) は以下に訂正すべき。国の権力は強大で、国民の自由をしばること可。そこで、この政治権力から人権を守る為、憲法により政治、権力を制限する事が立憲主義。
(イ) 行政が法を解釈して運用していくのではなく、立法府の定める法に従って国を運営していくことが立憲主義の運用。法に解釈のゆらぎが生じる様な不備な法であるならば、立法府が法を改正すべきであり、解釈であいまいな運用をすべきではない。
- ・自由社 新しい歴史教科書 P268 戦後の文化
育鵬社 新しい日本の歴史 P268, 269 ~文化
人物A 石原慎太郎 小説「太陽の季節」はエロ文学でしょう？
人物B 美空ひばり 暴力団との癒着関係は多くの国民が知るところであり、人気の形成を考えると、不適切、或いは注釈が必要なはず。
- ・社会科 日本史の教科書 尖閣と竹島に関する
 1. 時代背景
 2. 閣議決定を根拠とする
 1. 尖閣 1895年は日清戦争中であり、且つ攻撃優位の時
竹島 1905年は日露戦争下で、日本の武力を背景に日韓議定書を結ばせた時
上記背景のもとで
 2. 閣議決定によるもの。昨今の安保戦争法の閣議決定という根拠のあいまいな、時の政権による一方的決定である事を目のあたりにする時、更に、国際的手続き、少なくとも国内での法的処置を欠いている点を説明を加えてアジアの視点で、生徒が考えていくべき問題。
- ・育鵬社 新しいみんなの公民 安倍首相写真
「閣議決定」を根拠とする「憲法違反」内閣の首相である事が、まもなく強引に決定される日が来そうです。決定された時に、まさか公民の教科書に、憲法違反の首相を反面教師として以外、かくも多用放置しておくわけにはいかなくなり、写真の入れ替えが必要となるはず。教育の一時的不在を避ける為にも、写真の使用を取りやめ、あるいは教科書使用をしない方が無駄な費用の節約になりますよ。